

HIKVISION

DVR

Ver.4-2

クイックマニュアル

安全に関する注意事項

- すべてのパスワードおよびその他のセキュリティ設定の適切な構成は、設置者および/またはお客様の責任です。
- 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。1つの電源アダプタに複数の機器を接続しないでください。アクセサリや周辺機器を接続したり取り外したりする前に、本機の電源を切ってください。
- メンテナンスで筐体を開ける場合、作業前に電源を落としてコンセントからケーブルをはずしてください。感電の危険があります。
- 本機は必ず接地されたコンセントに接続してください。
- コンセントは、機器の近くに設置し、容易にアクセスできるようにしてください。
- 端子に接続された外部配線は、指示された人が設置する必要があります。
- 不安定な場所には絶対に設置しないでください。機器が落下して、重大な人身事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。
- 入力電圧は IEC60950-1 の SELV (Safety Extra Low Voltage) および LPS (Limited Power Source) を満たしている必要があります。
- 電源に接続する前にアースに接続してください。
- 万一、煙やにおい、異音がしたら、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、ご購入先へご連絡ください。
- UPS と併用し、HDD はなるべく工場出荷時の推奨品を使用してください。
- 本製品には、ボタン電池が内蔵されています。電池を飲み込むと、わずか 2 時間で体内に重度の火傷を負い、死に至る可能性があります。
- この機器は、子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 不適切な種類の電池に交換すると、機器が故障する危険があります。
- 不適切な種類の電池に交換すると、安全装置が無効になることがあります（例：一部のリチウム電池の場合）。
- 電池を火や高温のオープンに入れたり、機械的に押しつぶしたり、切断したりすると、爆発する恐れがあります。
- 爆発や引火性液体・気体の漏洩の恐れがあるため、極端に高温の周囲環境に電池を放置しないでください。
- 電池を極端に低い気圧にすると、爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れたりすることがありますのでご注意ください。
- 使用済みの電池は、自治体などのルールに従って廃棄してください
- ファンブレードやモーターに体の一部を近づけないでください。近づいたり触れたりする場合は電源を切ってください。

予防と注意点

機器を接続し、操作する前に、以下の注意事項をご確認ください。

- 本装置は屋内専用に設計されています。風通しがよく、ほこりのない、液体のない環境に設置してください。
- 本機はラックや棚にしっかりと固定されていることを確認してください。落下などによる大きな衝撃を与えると、内部の電子部品が破損することがあります。
- また、花瓶など液体が入ったものを装置の上に置いてはいけません。
- 火をつけたロウソクなどの裸火を機器の上に置いてはいけません。
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで換気口を覆い、換気を妨げないこと。ベッド、ソファ、敷物などの上に機器を置いて開口部を塞いではならない。
- 一部のモデルでは、AC 電源に接続するために端子を正しく配線してください。
- 一部のモデルでは、IT 配電システムに接続するために、必要な場合、装置が修正されて設計されています。
- 取扱説明書または使用説明書に記載されている電源のみを使用してください。
- 機器の USB ポートは、マウス、キーボード、USB フラッシュドライブ、または Wi-Fi ドングルの接続にのみ使用されます。接続する機器の電流は 0.1A を超えることはできません。高い使用温度（45℃（113°F）～55℃（131°F））では、一部の電源アダプタの電力供給が減少することがあります。

電源の説明

電源アダプタや電源ケーブルは、必ず同梱されている物を使用してください。

目次

1. はじめに	3
2. 接続方法	3
3. 機器の接続と電源の ON/OFF	5
3.1 起動前の準備	5
3.2 電源 起動操作	5
3.3 電源 停止操作	6
3.4 電源 計画停電の前に	6
4. 初回起動時のパスワード設定	7
5. セットアップウィザード	11
6. ライブ映像の閲覧と録画設定	16
6.1 ライブ画面操作	16
6.2 メインメニューバー	19
6.3 ネットワーク設定方法	20
6.4 録画映像条件設定	22
6.5 録画スケジュール設定（常時録画）	26
6.6 録画スケジュール設定（動体検知録画）	28
6.7 カメラ名称の変更	33
7. 録画映像の再生方法	34
8. 録画映像のエクスポート方法	37
8.1 記録した映像の出力	37
8.2 エクスポート映像の再生	40
9. 保存された E メールでパスワードリセット	45
9.1 パスワードリセット用 Eメールの登録	45
9.2 パスワードリセット手順	45

10.HIKVISION 製 NVR・DVR クイックマニュアル【保守編】	48
10.1 時計修正方法	48
10.2 ログの確認	49

1. はじめに

この度は、HikVision Turbo HD DVR を導入して頂き、誠にありがとうございます。本マニュアルは、購入後最初に行うセットアップ操作から普段よく使われる操作方法について記載しております。さらなる詳細な設定をご使用になる場合は、詳細マニュアルをご覧頂くか、お買い上げ頂いた販売店にお問合せ下さい。

2. 接続方法

(1) 4 カメラ DVR 接続図

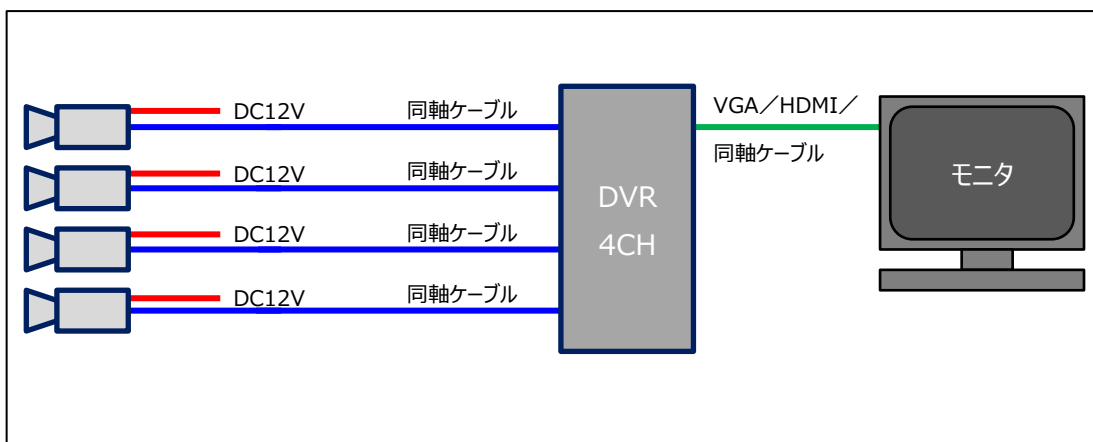


図 2-1

(2) 8カメラ DVR 接続図

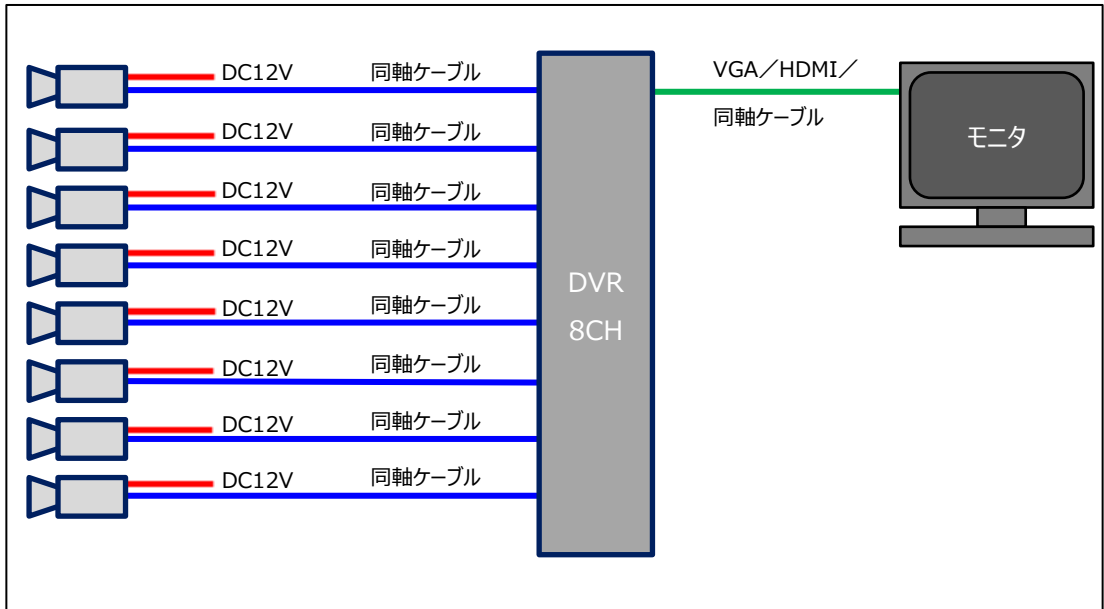


図 2-2

(3) ネットワーク機器 接続図

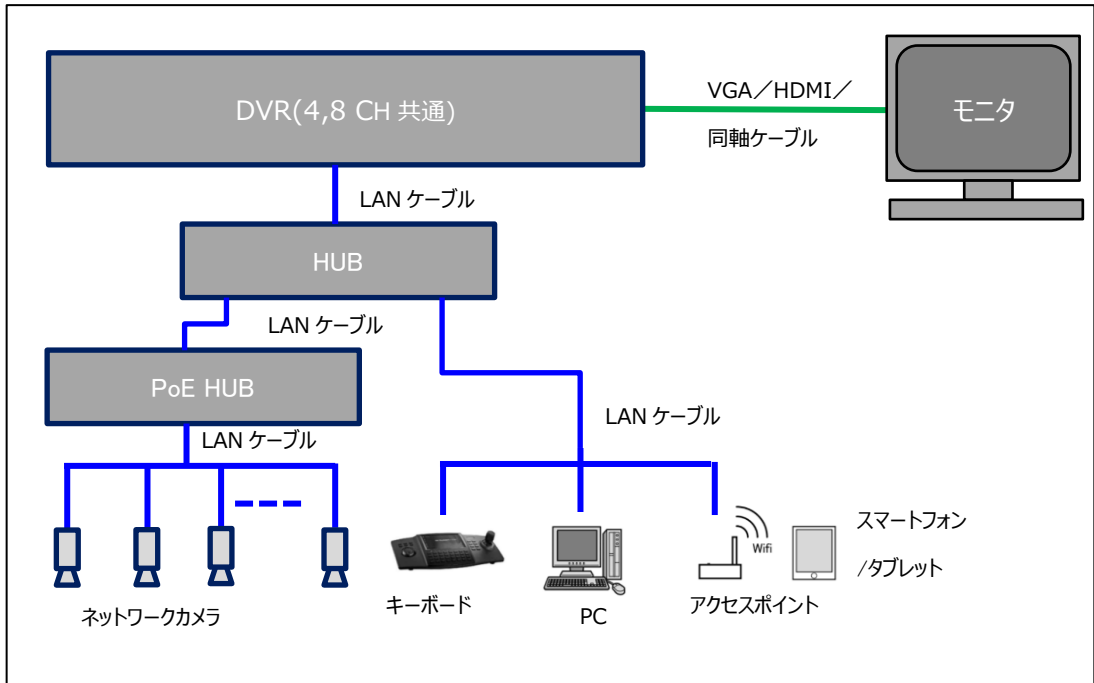


図 2-3

3. 機器の接続と電源の ON/OFF

3.1 起動前の準備

本機に USB マウスを接続します（USB マウスは本機に同梱されています）。
USB ポートは前面パネル（USB 2.0）と背面パネル（USB 3.0）にあります。

本体前面



写真 3-1

本体背面



写真 3-2

モニタを本機に接続します。お手元のモニタに適合したケーブル（VGA/HDMI/BNC）を背面パネルの各端子に接続します。モニタの電源ケーブル等を AC100V コンセントに接続し、モニタ電源をオンにします。

3.2 電源 起動操作

背面パネルに、付属の電源ケーブルとアダプタを接続し、AC100V コンセントにも接続します。
電源スイッチをオンにすると、本機が起動します。



写真 3-3

注意：

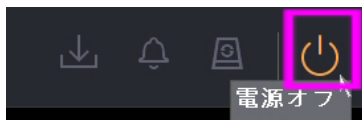
AC アダプタ・電源ケーブルは必ず同梱品をご使用ください。

また、この AC アダプタ・電源ケーブルを他の機器で使用しないで下さい。

3.3 電源 停止操作

(1) メニュー右端の「電源」アイコンを選択します。

* ライブ画面上でマウスを右クリックすると、メニューが表示されます。



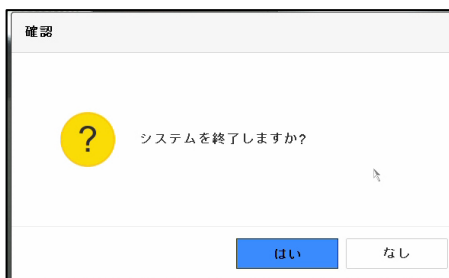
画面 3-4

(2) 中央の「シャットダウン」を選択します。



画面 3-5

(3) 「はい」を選択します。



画面 3-6

(4) 画面に「電源スイッチをお切り下さい」と表示されたら本体背面のスイッチを OFF にします。

3.4 電源 計画停電の前に

(1) 計画停電の前に 3.1 から 3.3 の手順で電源スイッチを OFF にします。

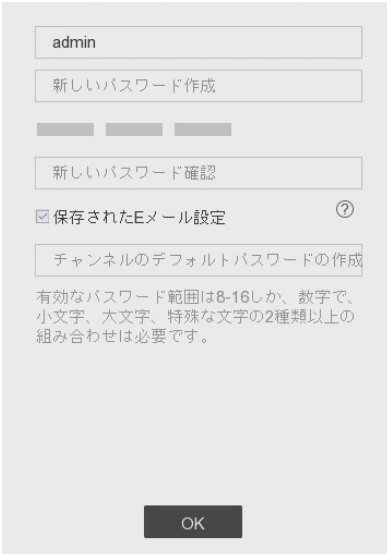
(2) 電源ケーブルをコンセントから抜いておきます。

注意：

**シャットダウンの手順を踏まずに電源を OFF にすると、
故障に繋がる可能性があります。**

4. 初回起動時のパスワード設定

初期起動時は下記画面が表示され DVR をアクティブにするためにユーザーが各自でパスワードを設定する必要があります。



画面 4-1

入力画面にパスワードは表示されません。カメラの自動アクティベーションのため、必ず同じパスワードを 3 度入力します。（「チャンネルのデフォルトパスワードの作成」も同じパスワードに設定する必要があります）

登録できるパスワード条件は次の通りです。

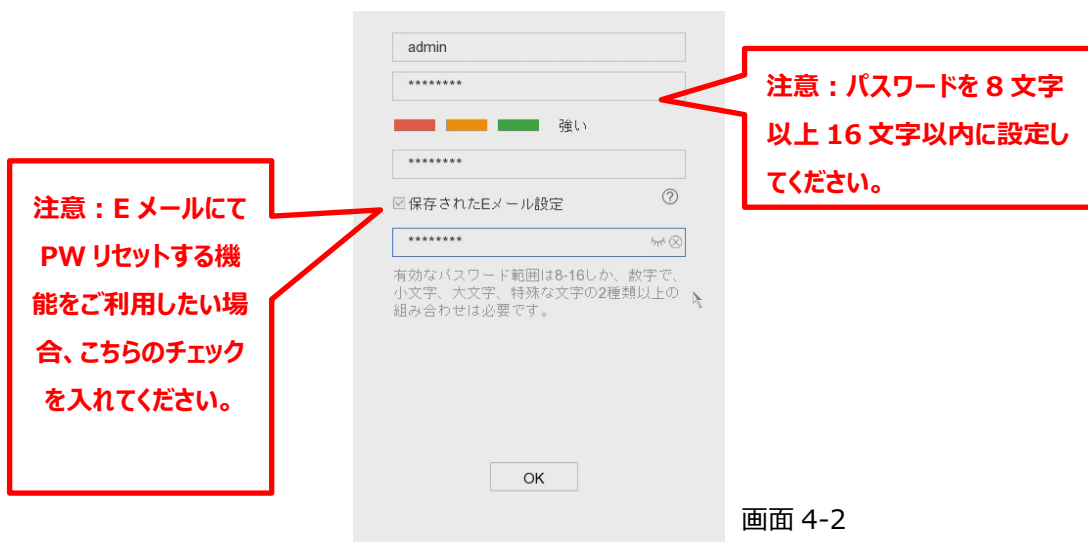
- ・ 文字数： 8 文字以上 16 文字以内
- ・ 組み合わせ： 数字、アルファベット（小文字／大文字）、記号文字の中から 2 種類以上
- ・ 小文字の admin という文字を含まない

※OK な PW 例：Mypass123 NG な PW 例：Myadmin123

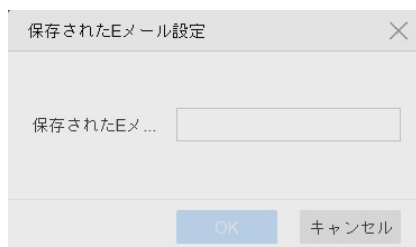
適切なパスワードが入力されると、パスワード入力欄右にあるインジケータが緑「強い」と表示されます。

注：パスワードを忘れると、録画や本機全般設定を行うためのメニューにログインできなくなります。

「弱い」や「中」のパスワードでも登録は可能ですが、不正アクセス防止のために「強い」のパスワードの設定を推奨します。



パスワードの登録後 OK ボタンをクリックすると、画面 4-3 が表示され、パスワードリセット用の E メール設定画面が表示されます。E メールでパスワードリセット機能を有効する場合、お使い E メールアドレスを入力し、OK のボタンをクリックします。



※EメールでPWリセットする機能とは、管理者パスワードを忘れた場合、事前に設定したメールアドレスにパスワード再設定用「確認コード」を送信する機能です。

確認コードを入力することで、新しいパスワードを設定することができます。

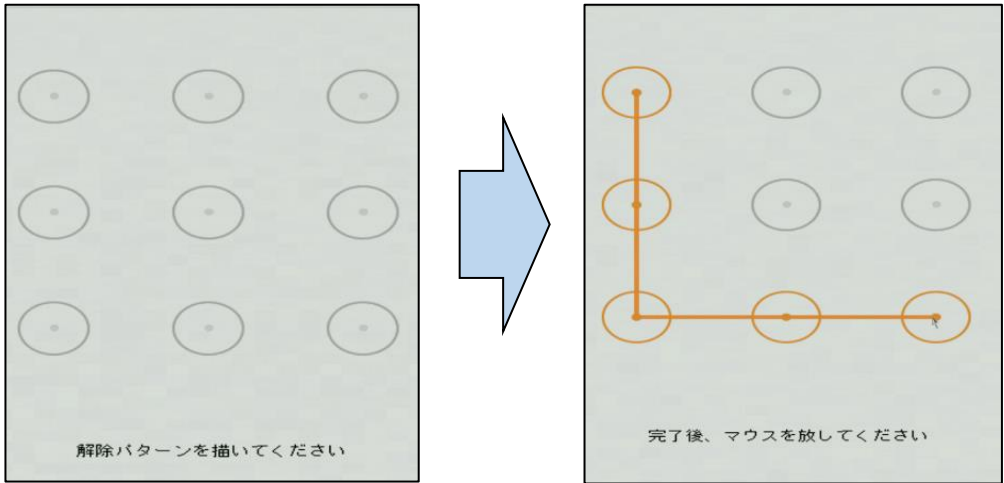
メール送信用 QR コードをスキャンし、メール送信するため、スマートフォンとアプリ (Hik-connect) のインストールが必要です。

Eメールでパスワードをリセットする方法は、9章「Eメールでパスワードリセット」を参照して下さい。

(ファームウェアバージョンにより英語表記の場合もあります)

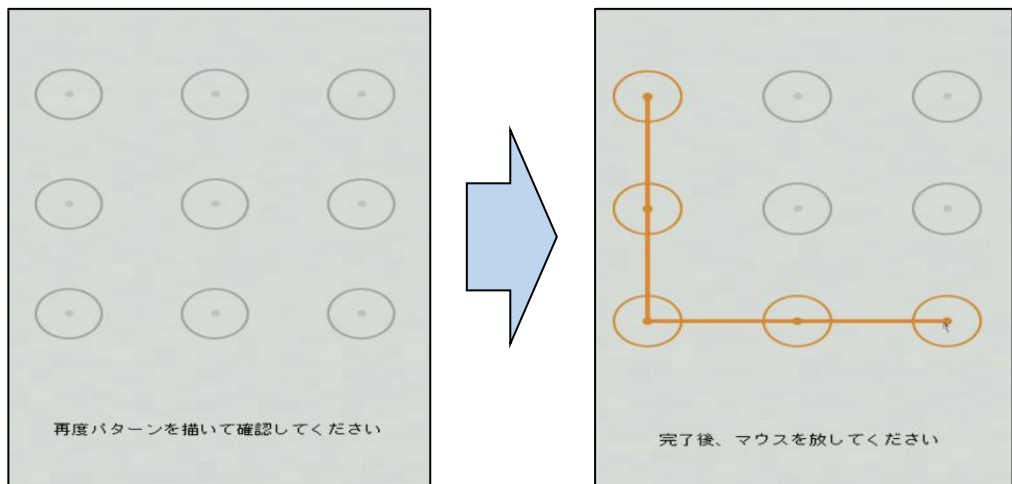
注意：
パスワードは絶対に忘れないでください。
本機にパスワードリセットスイッチはありません。

次に解除パターンを設定します。マウスでドラッグ&ドロップしてパターンを決めます。
 (最低 4 点必要)



画面 4-4

マウスをドロップする（ボタンを離す）と、確認の為に同じ画面が表示されますので、もう一度同じパターンを設定します。

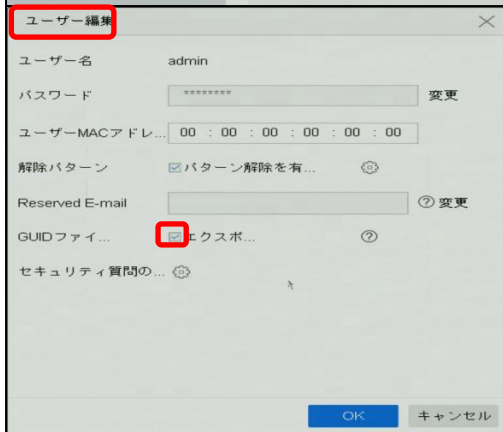


画面 4-5

注：パスワードと解除パターン及び GUID ファイルのエクスポートは、初期設定完了後の設定モードにログインした後の、メインメニュー->システム設定>ユーザーの「変更」にある各ユーザーの編集でも操作可能です。



画面 4-6



画面 4-7

5. セットアップウィザード

ここではセットアップウィザードを使い、さまざまな初期設定を行います。

(1) 言語設定

システム言語（日本語）を選択し、「適用」ボタンをクリックします。



画面 5-1

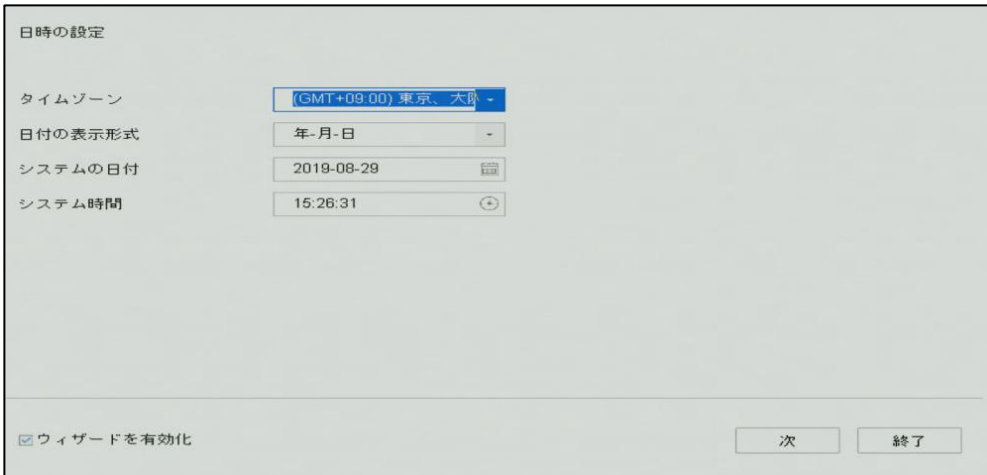
(2) ウィザード設定

本機のシャットダウンや再起動を行った後で、再度本機が起動したときに再びこのセットアップウィザード画面を表示するかどうかの設定です。表示させる場合は、「ウィザードを有効化」にチェックを入れます。



画面 5-2

(3) タイムゾーン、日付の表示形式、システム（本機）の日付、システム時間を設定し、「次」ボタンをクリックします。日付の表示形式は、YYYY=年、MM=月、DD=日を表します。



日時の設定	
タイムゾーン	(GMT+09:00) 東京、大阪
日付の表示形式	年-月-日
システムの日付	2019-08-29
システム時間	15:26:31

ウィザードを有効化

次 終了

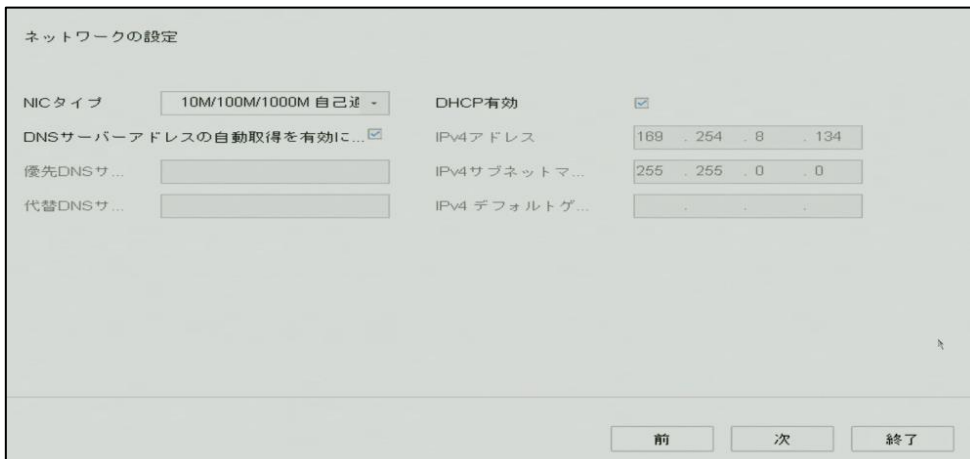
画面 5-3

各項目は次の通り設定します。

- タイムゾーン： (GMT+09:00)東京、大阪、札幌、ソウル
- 日付の表示形式：年-月-日
- システムの日付：現在の日付（項目右のカレンダーアイコンをクリックし設定します）
- システム時間：現在の時間（項目右の時計アイコンをクリックし設定します）

(4) ネットワーク設定

外部からの監視や PC を使用した監視行わない場合は、なにも設定せず「次」ボタンをクリックします。本機に IP アドレスを設定する必要がある場合は、各項目を設定し「次」ボタンをクリックします。

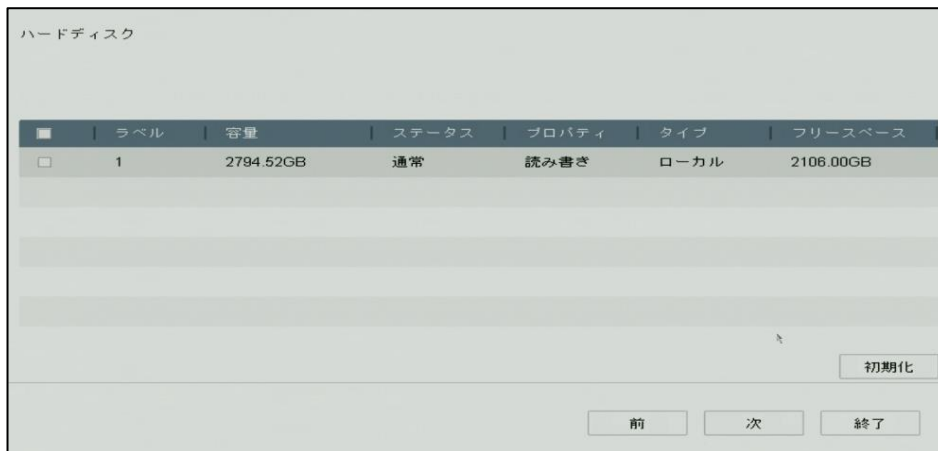


画面 5-4

(5) HDD 初期化設定

本機に内蔵されているハードディスクの初期化画面です。ハードディスクの初期化をしない場合は、なにもせず「次」ボタンをクリックします。

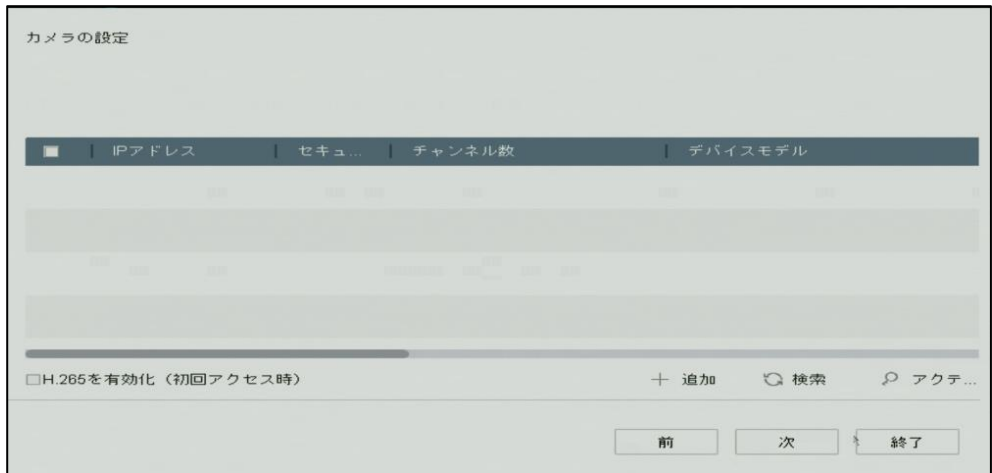
注：初期化を行うと、録画された映像ファイルがすべて消去されます。初回起動時はハードディスクに映像ファイルはありませんが、2 回目以降の起動時にハードディスクの初期化を行うとそれまでに録画された映像ファイルはすべて消去され復旧はできません。



画面 5-5

(6) IP カメラ追加設定

IP カメラを追加する準備が出来ていて、カメラがリストに表示されている場合、追加することが出来ます。

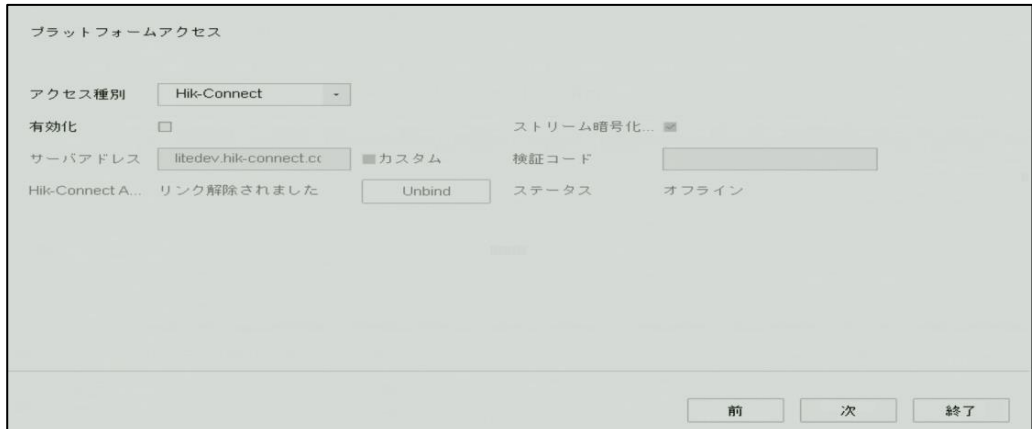


画面 5-6

(7) プラットホームアクセスの設定

Hik-Connect を使用する場合は「有効化」にチェックを入れ、「認証コード」を設定して下さい。

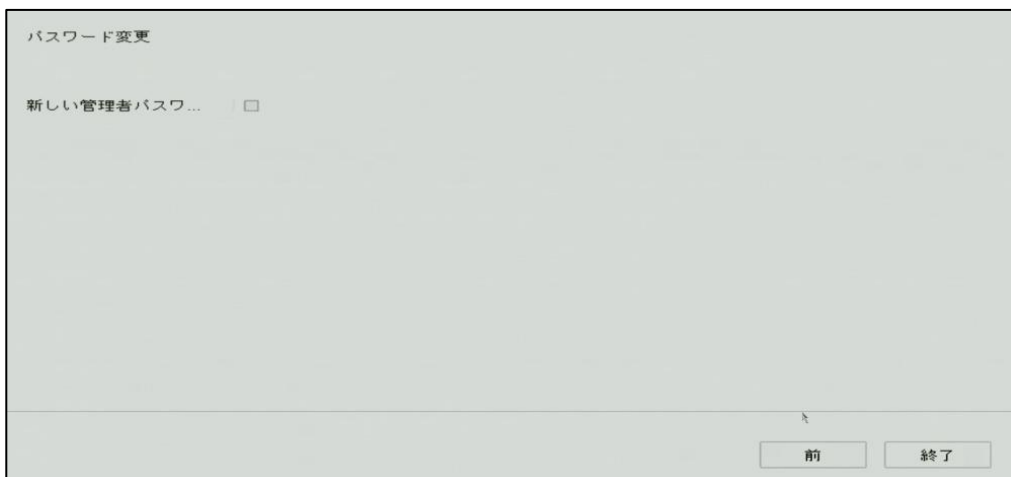
「認証コード」は、6～12 桁の英数字で作成します。



画面 5-7

(8) パスワード変更

変更がなければ、何もせず「終了」をクリックします。



画面 5-8

6. ライブ映像の閲覧と録画設定

セットアップウィザードが終了するとライブ画面が表示されます。運用開始前のさらなる設定や運用中における各種設定の変更は、ライブ画面にカーソルを移動すると表示されるクイック設定ツールバーやメインメニューの設定モードから行います。設定モードへのログイン画面は、ライブ画面でマウスを右クリックし、画面上部に表示されるメインメニューから行います。

6.1 ライブ画面操作

ライブ画面の操作方法は、次の通りです。

(1) クイック設定ツールバー

ライブ画面で表示されるカメラ映像上で画面下にクイック設定ツールバーが表示されます。クイック設定ツールバーは、よく使う機能をライブ画面上で操作ができます。



画面 6-1

クイック設定の説明

- ① 簡易再生 : 直近の録画データ再生 (5分以内)
- ② PTZ コントロール : パン・チルト・ズームを操作 (可動式カメラのみ)
- ③ デジタルズーム : デジタルズーム操作
- ④ 映像調整 : 画像の輝度、コントラスト、彩度、色彩等の設定
- ⑤ 音声 ON/OFF : 音声出力のオン/オフ操作
- ⑥ 録画停止/開始 : 強制的に停止操作 (通常は使用しないで下さい)
- ⑦ VCA 情報表示/非表示 : VCA 情報の表示/非表示

(2) デジタルズームの操作

デジタルズームは、カメラの画面の一部領域を拡大して表示させる機能です。

クイック設定ツールバーからデジタルズームを選択します。選択されたカメラが全画面に拡大され、右上隅にデジタルズーム操作画面が表示されます。

この時点でマウスのホイールを回すと拡大縮小が出来ます。

デジタルズームを終了するには、カメラ画面上で右クリックします。

- ①クイック設定のツールバーからデジタルズームをクリックしてください。

下の画像のように画面へ変更されます。



画面 6-2

②デジタルズームしたい場所にカーソルを移動し、マウスホイールを回すとズームします。



画面 6-3

③ズームした後で画面を移動する場合はドラッグで移動します。



画面 6-4









6.2 メインメニューバー

ライブ画面上で右クリックするとメインメニューバーが開きます。



画面 6-5

表 0-1 アイコンの解説

アイコン	説明	
	ライブビュー	カメラのライブ映像表示
	再生	録画映像の再生画面を表示
	ファイル管理	ファイルの設定管理をします
	スマート解析	人数カウント、ヒートマップを管理します
	カメラ管理	カメラの設定管理をします
	ストレージ	HDD の設定管理をします
	システム	時間やネットワーク等各種設定画面を表示
	メンテナンス	本機の稼働状態（システム情報・ログ検索）や初期化などのメンテナンス画面を表示

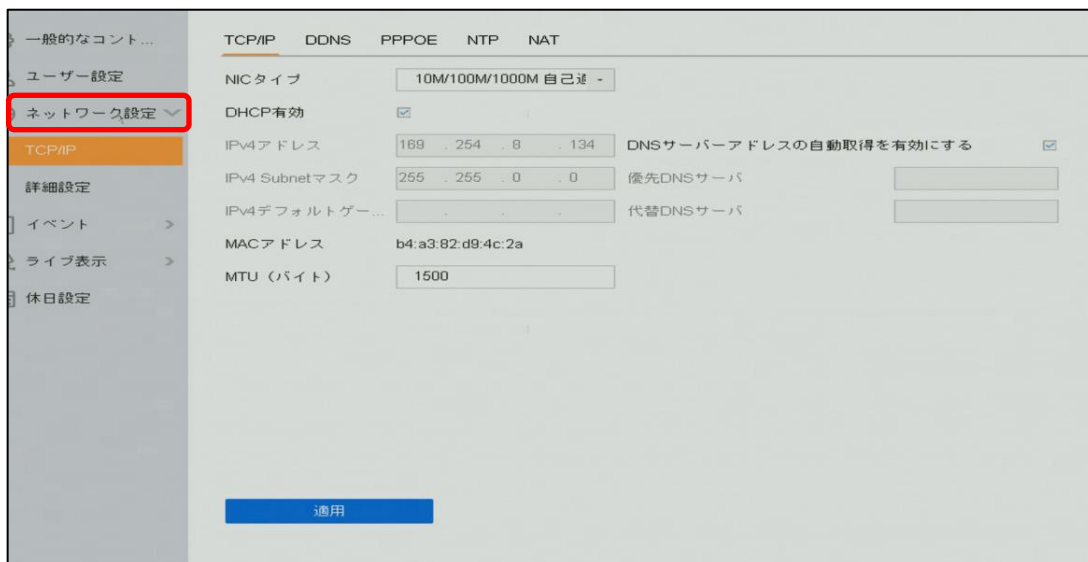
6.3 ネットワーク設定方法

(1) メインメニューバーより「システム」を選択します。



画面 6-6

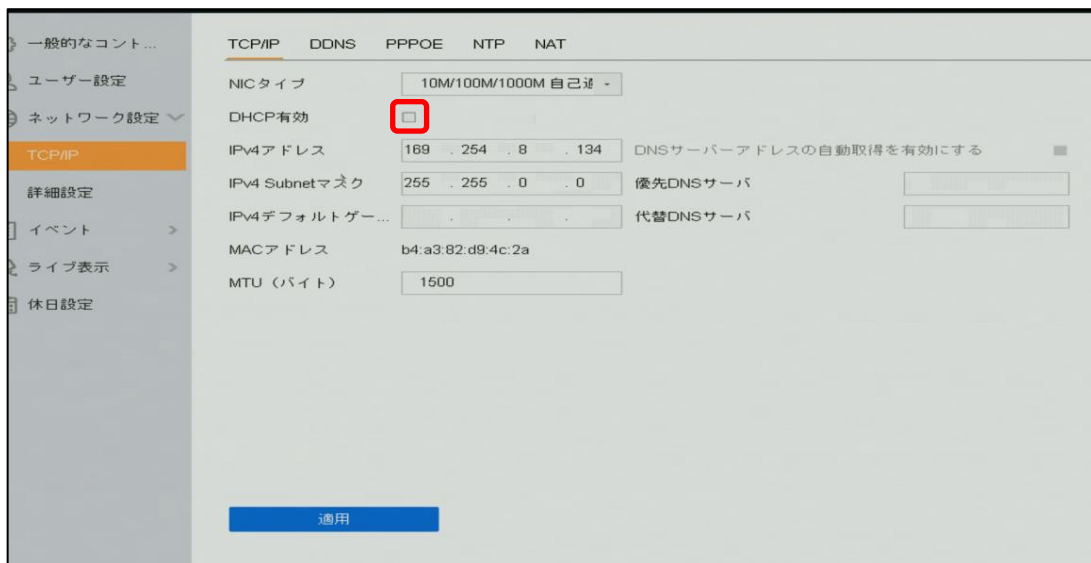
(2) 左側メニューの「ネットワーク設定」を選択します。



画面 6-7

(3) デフォルトでは「DHCP 有効」にチェックが入っております。

DHCP を利用しない場合はチェックを外して、手動で設定を行って下さい。



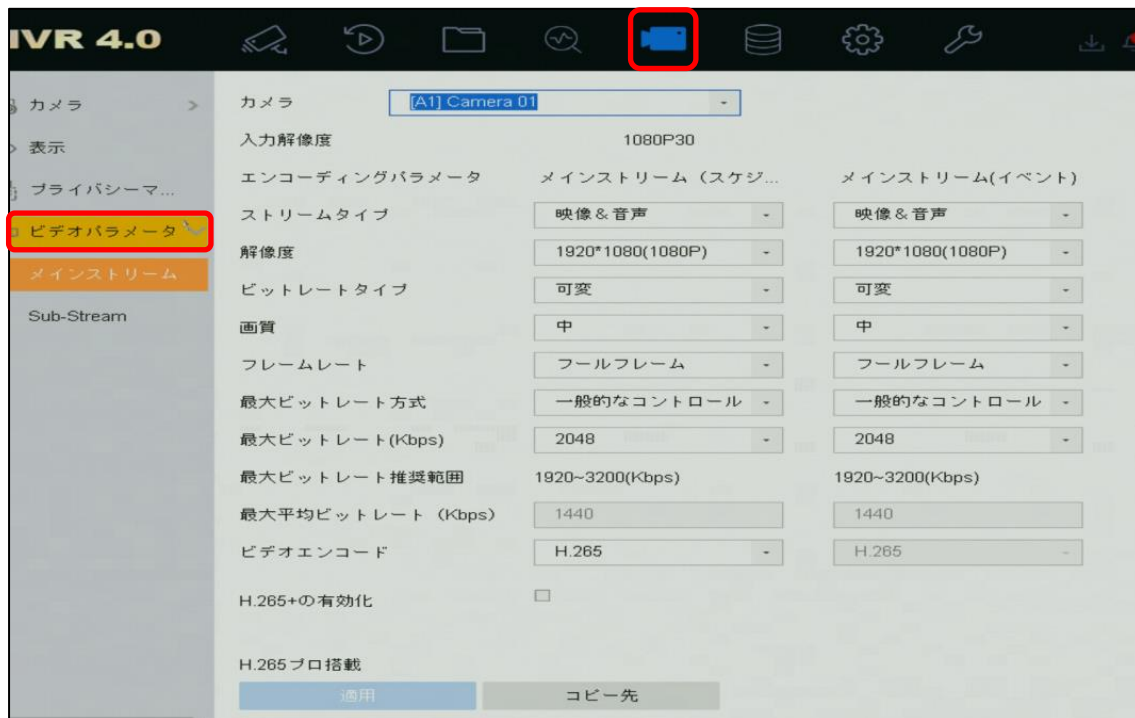
画面 6-8

(4) 設定が終了しましたら「適用」をクリックしてください。

6.4 録画映像条件設定

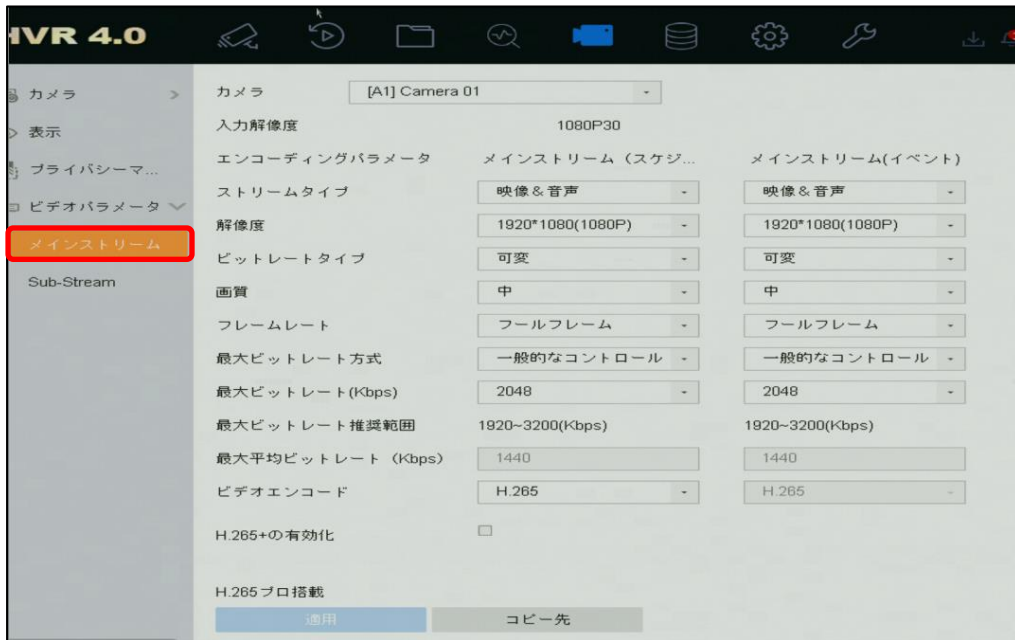
録画条件を変更する場合は、次の操作を行います。

- (1) メインメニューバーより「カメラ」→「ビデオパラメータ」アイコンをクリックします。



画面 6-9

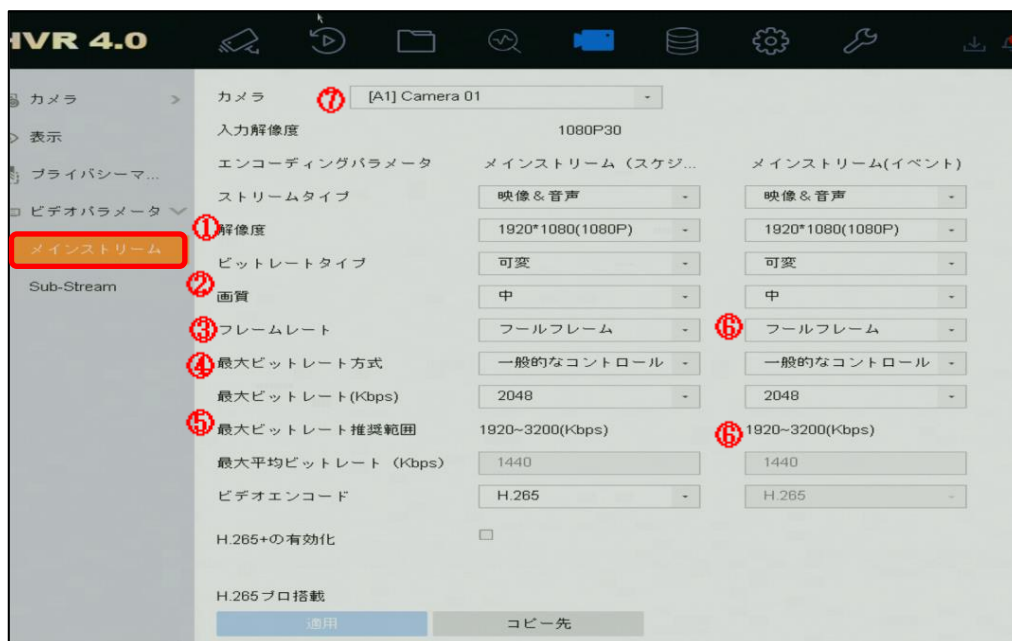
(2) 左の「メインストリーム」または「Sub-Stream」を選択します。



画面 6-10

(3) 解像度、フレームレートの設定を行います。(メインストリーム)

メインストリームは録画・1画面及び4分割のライブ表示の際に使用される映像です。



画面 6-11

- ①解像度の設定項目です。プルダウンにて選択して下さい
- ②映像の圧縮の度合いを指定します。高くするほど圧縮率が低くなり、画質は良くなりますがデータ量が増えます。
- ③フレームレート（秒辺りのコマ数）
- ④最大ビットレートを指定します。秒あたりのデータ量の上限を設定します。一般的には、⑤の数値の範囲内に設定します。
- ⑥動体検知やアラーム検知等の際の録画条件を設定します。特に使用しない場合は、(スケジュール)と同じ設定を入力して下さい。

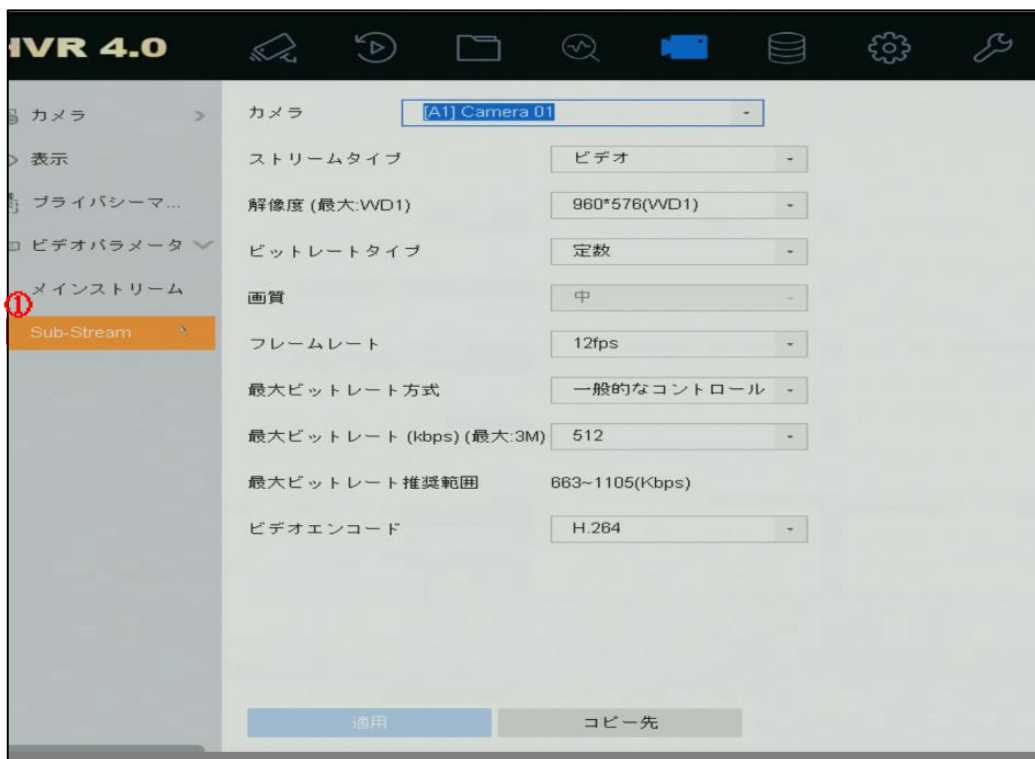
入力が完了したら、「適用」ボタンを押して下さい。設定が反映されると、「適用」ボタンが押せなくなります。同様の設定を他のカメラにも適用するため、⑦でカメラを切り替えて下さい。

(4) 解像度、フレームレートの設定を行います。(サブストリーム)

サブストリームは4分割より多い分割画面のライブ表示の際に使用される映像です。画面左①「Sub-Stream」を選択して下さい。

その他はメインストリームと同じ要領で各カメラに設定して下さい。

注:各レコーダーによって異なりますが、フレームレートはメインストリームと同程度を設定して下さい。



画面 6-12

注:メインストリーム、サブストリームとも、最大ビットレートの設定は注意して行って下さい。

レコーダーのモデルにより、最大ビットレートの合計値の許容範囲が決まっており、これを超過して設定された場合、ライブ映像が表示されない等の症状が発生するケースが御座います。

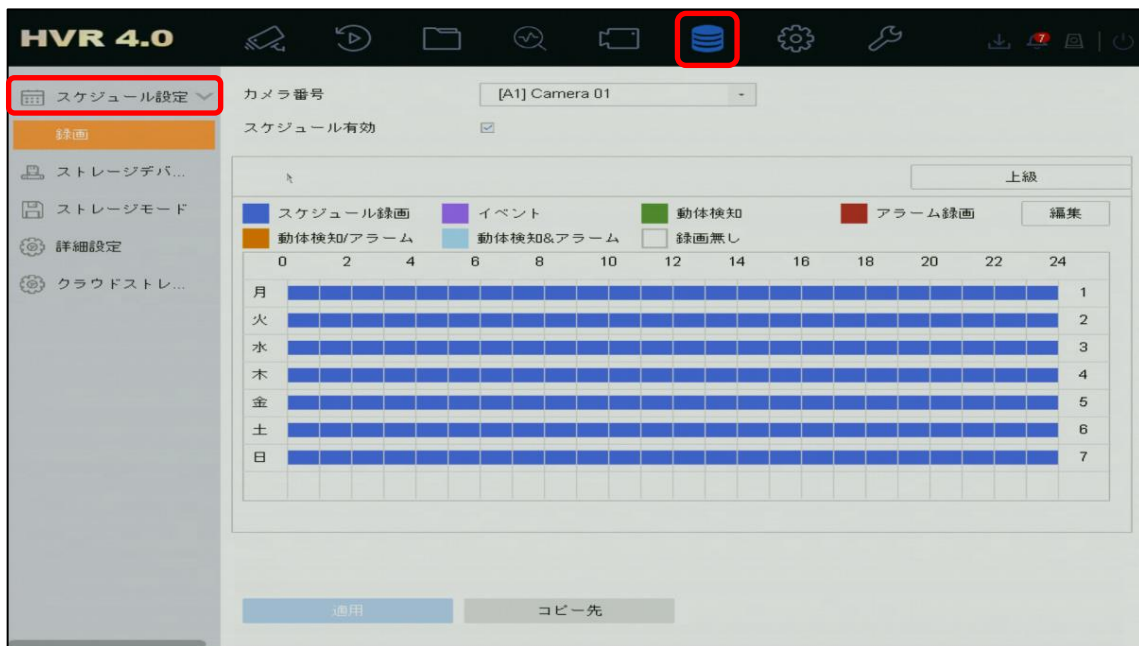
ライブ画面上に「No Resource」と表示されて、映像が出てこない場合は、ほぼ上記の理由です。メインストリーム、サブストリームの設定を見なおして下さい。

注:最大ビットレートの範囲は、⑤「推奨範囲」以下の設定も可能です。但し、この設定を行った場合、データ容量は少なくなりますが、ブロックノイズ等が発生し、本来の解像度の効果を発揮出来ない可能性がございますので、ご注意下さい。

6.5 録画スケジュール設定（常時録画）

常時録画を設定する場合は、次の操作を行います。

(1) メインメニューより「ストレージ」→「スケジュール設定」アイコンをクリックします。



画面 6-13

(2) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
- ③ スケジュール録画をクリック（矢印がペンの形に変わる）
- ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
- ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」をクリックして実施します。
- ⑥ 設定完了後、適用をクリックします。



画面 6-14

(3) 録画が開始されると、画面右上に赤のカチンコマークが表示されます。

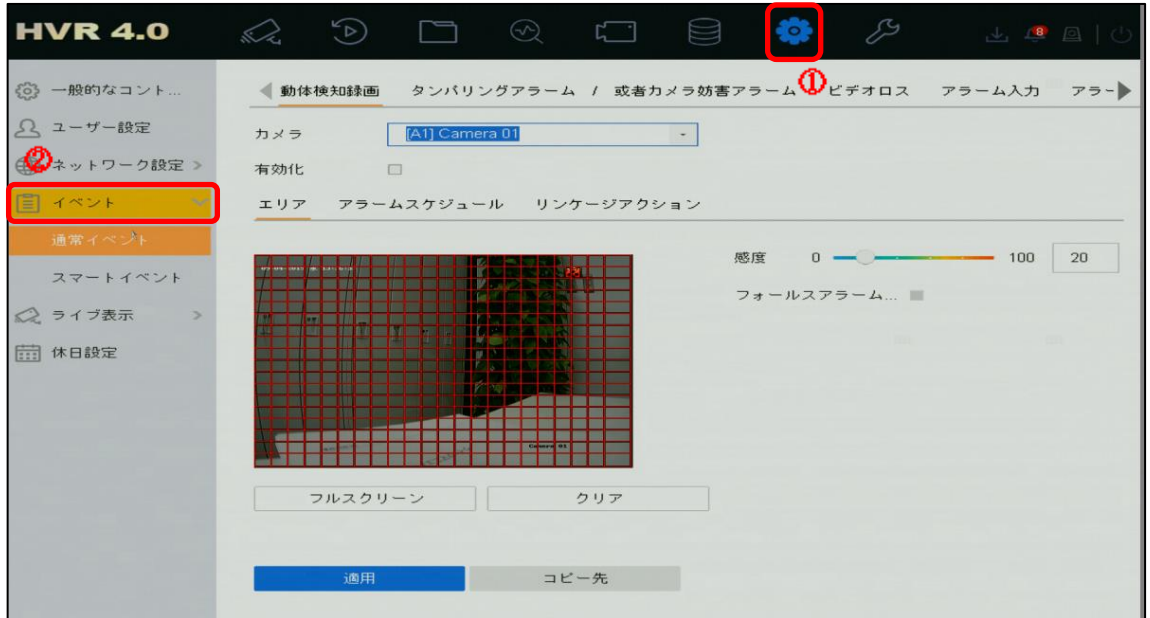


画面 6-15

6.6 録画スケジュール設定（動体検知録画）

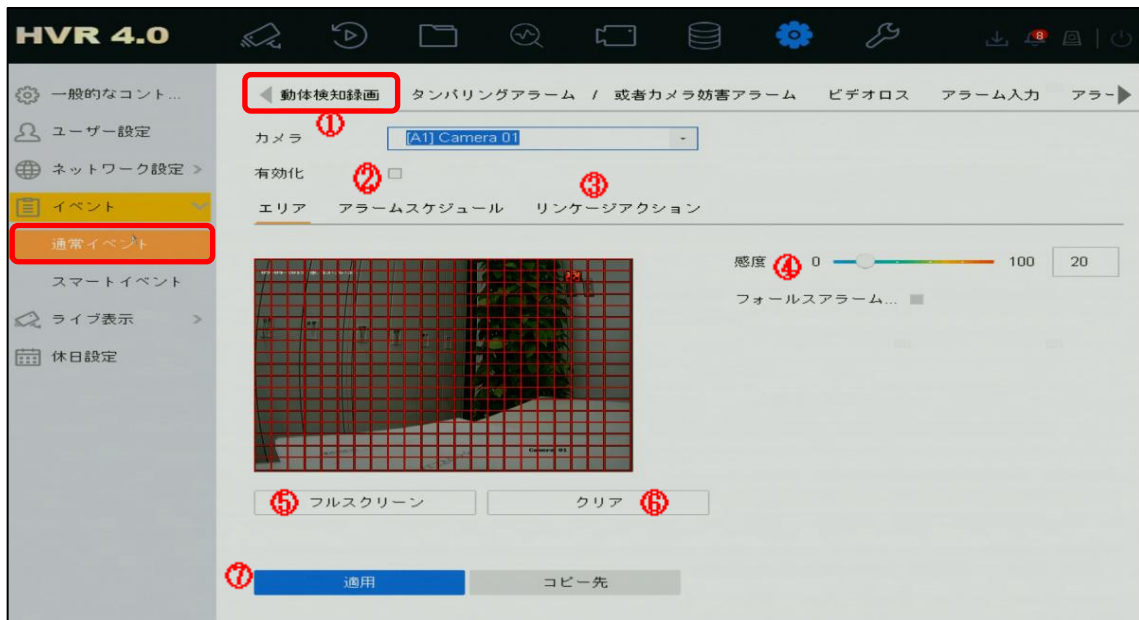
動体検知録画をする場合は、次の操作を行います。

(1) メインメニューバーより「システム」→「イベント」アイコンをクリックします。



画面 6-16

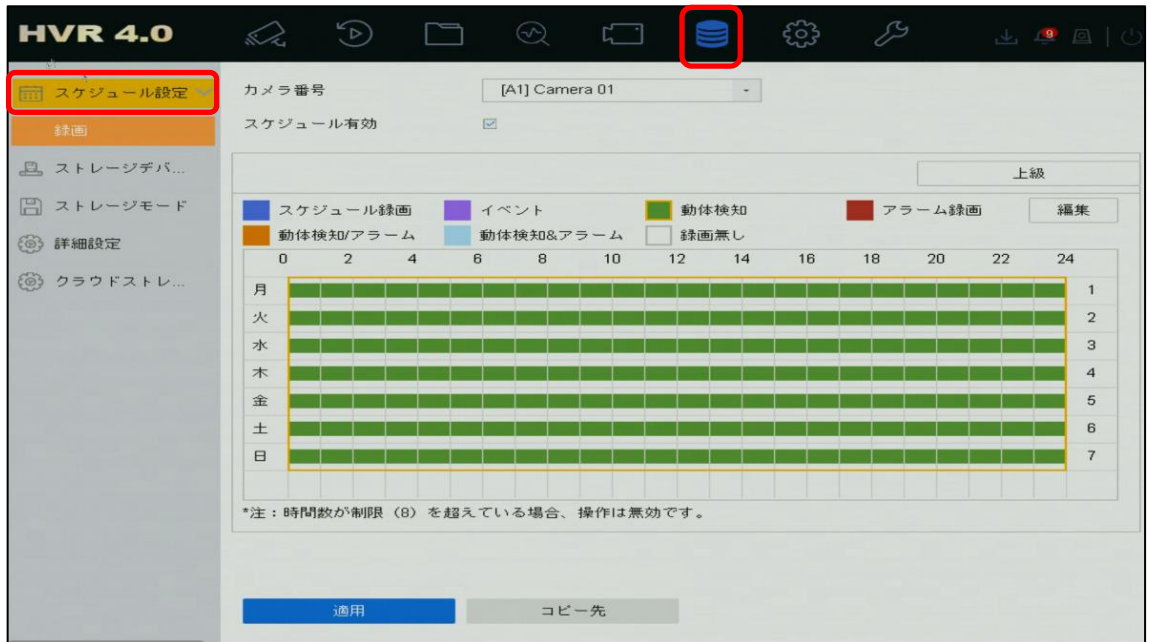
(2) 画面左側の「動体検知録画」をクリックします。



画面 6-17

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「有効化」にチェックします。
- ③ 必要に応じて処理方式を設定します。（動きを検知した際に NVR で音を鳴らす等の設定）
- ④ 感度を設定します。（左側が感度が低く右側が高い）
- ⑤ 検知範囲を全範囲に設定します。（範囲を限定する場合はドラッグで指定します）
- ⑥ 検知範囲をクリアする場合にクリックします。
- ⑦ 設定完了後、適用をクリックします。

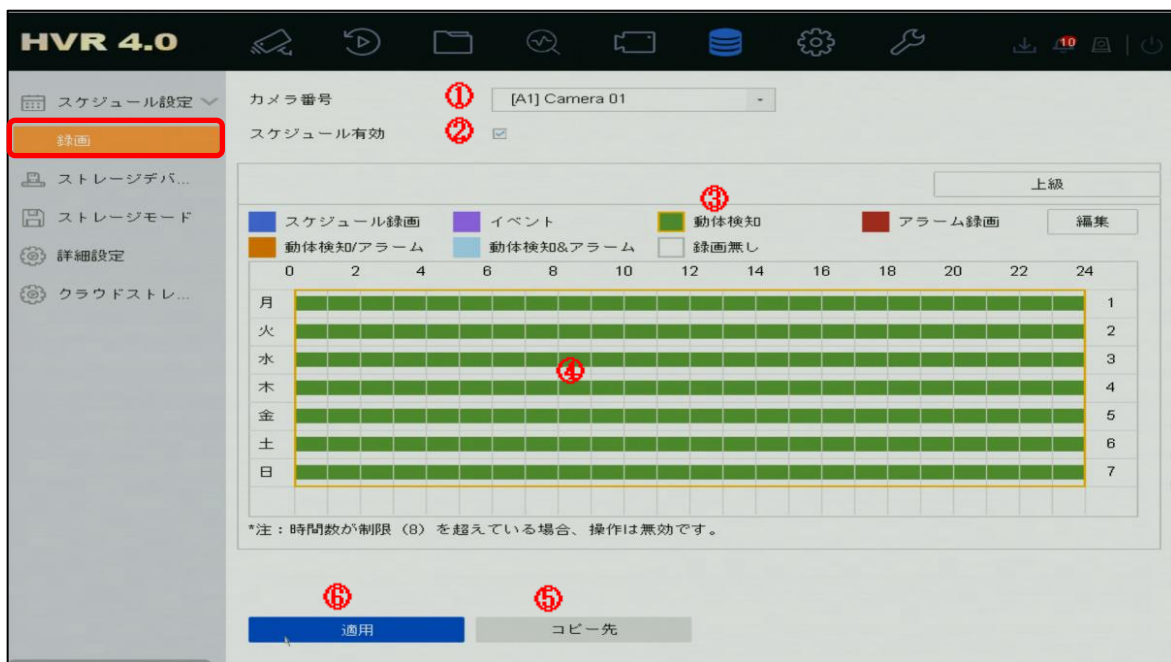
(3) メインメニューバーより「ストレージ」→「スケジュール設定」アイコンをクリックします。



画面 6-18

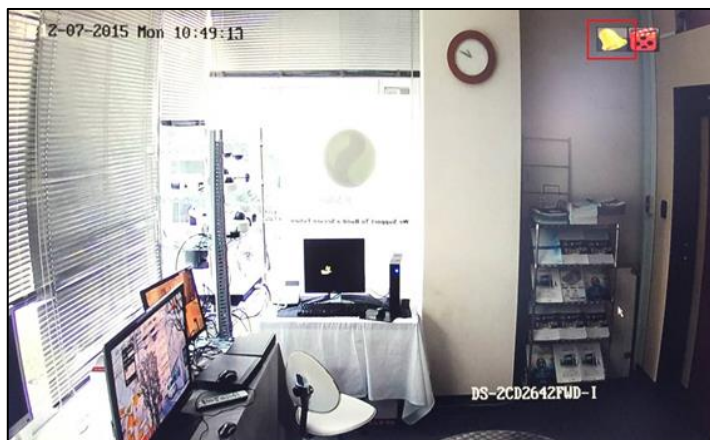
(4) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
- ③ 動体検知をクリック（矢印がペンの形に変わる）
- ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
- ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」をクリックして実施します。
- ⑥ 「適用」ボタンをクリックし設定を反映します。以上で動体検知録画の設定は完了です。



画面 6-19

(5) 動体検知などのイベントが発生した際に、画面右上に黄色いベルマークが表示されます。



画面 6-20

6.7 カメラ名称の変更

カメラ名称または表示内容を変更する場合は、次の操作を行います。

(1) メインメニューより「カメラ」アイコンをクリックします。



画面 6-21

(2) 画面左側の「表示」をクリックします。



画面 6-22

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② カメラの名称を入力します。(英数字)
- ③ 日付、時刻、曜日、名称の表示を ON/OFF します。
- ④ 年月日と時刻の記載方法を選択します。
- ⑤ 文字の透明/不透明、点滅/点灯を選択します。これは画面上の文字を表示する際、見やすくするため、色を自動的に変える機能です。

(3) 「適用」ボタンをクリックし設定を反映します。以上でカメラ名称の変更は完了です。

7. 録画映像の再生方法

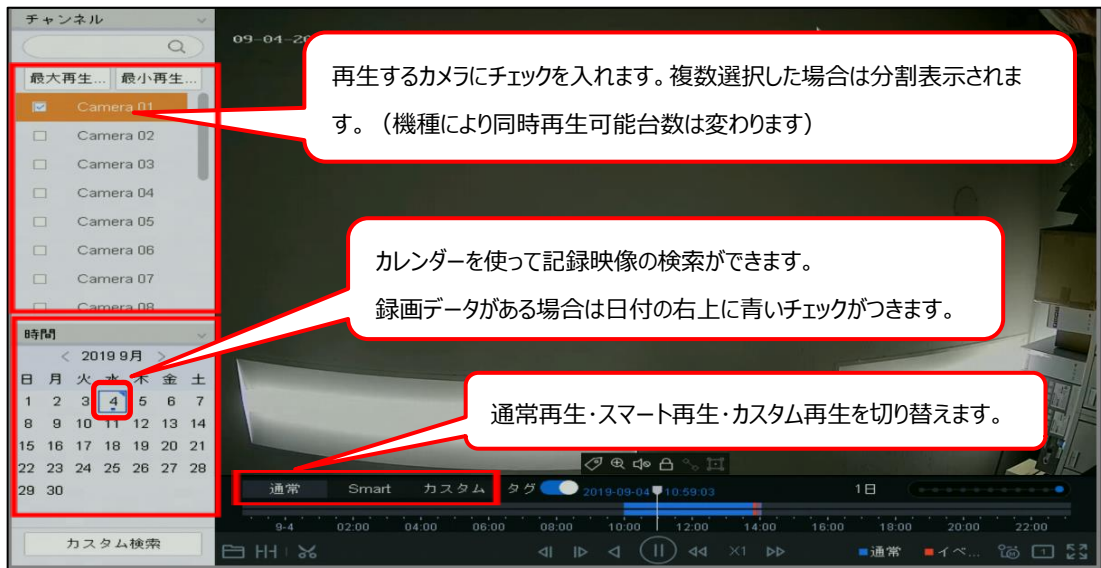
録画映像を再生する場合は、次の操作を行います。

(1) メインメニューから「再生」アイコンをクリックします。



画面 7-1

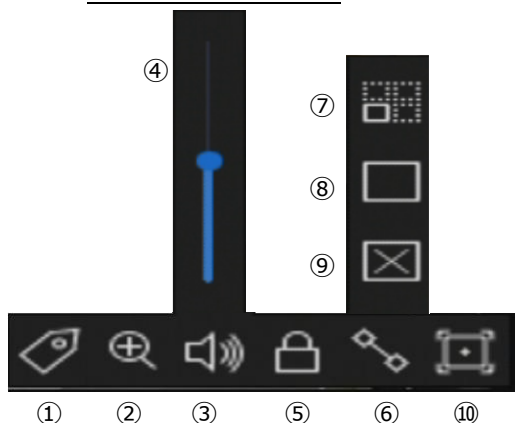
(2) 再生画面が表示されます。



画面 7-2

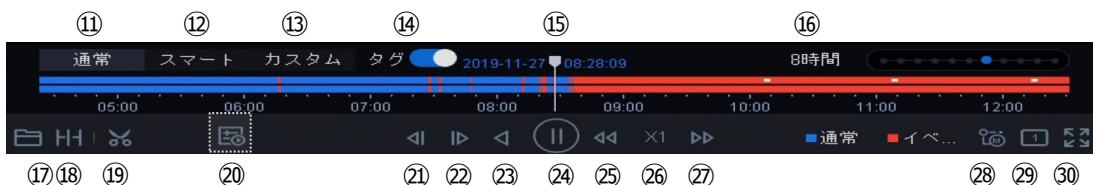
(3) 画面 7-3 は再生画面下部にある再生パネルの説明です。

◆再生パネル説明 (1)



画面 7-3a

◆再生パネル説明 (2)



画面 7-3 b

- ①タグの追加 : タグを追加します。
- ②デジタルズーム : 再生映像でデジタルズームを行う際に使用します。
- ③音声 ON/OFF : 録音をしているカメラがある場合の再生音声の ON/OFF
- ④音量調節 : 再生音量の調整
- ⑤ロック : 再生している内部ファイルをロックします。
- ⑥線を引く^(※1) : スマート再生時に使用
- ⑦動き検出^(※1) : グリッド描画によって検知範囲を指定します。
- ⑧四角形^(※1) : 任意の四角形描画によって検知範囲を指定します。
- ⑨クリア^(※1) : “線を引く”で描いた検知範囲をクリアする。
- ⑩VCA 情報^(※1) : VCA 情報の表示/非表示を切り替えます。
- ⑪通常 : 通常再生を行います。

- ⑫スマート : スマート再生を行います。(スマート再生は 1 画面表示のみ可能)
- ⑬カスタム : カスタム再生を行います。
- ⑭タグスイッチ : “タグの追加”で設定したタグ位置をタイムバーに表示させます。
- ⑮再生位置 : 現在再生している位置です。
- ⑯タイムバーの範囲 : タイムバーの端から端までの範囲を設定します。最小 5 分-最大 24 時間
- ⑰外部ファイル再生 : レコーダーに接続した USB メモリ内の映像ファイルを再生します。
- ⑱サブ期間再生 : 1 チャンネルの映像を 0 時、6 時、12 時、18 時からの 4 分割で再生する。
- ⑲映像ファイル : 再生映像を任意の時間でカットして USB メモリにエクスポートします。
- ⑳再生計画^(※2) : スマート・カスタム再生時の再生方法を設定 (通常映像は再生しない等)
- ㉑戻る : 30 秒戻る
- ㉒次へ : 30 秒進む
- ㉓逆再生/一時停止 : 録画映像の逆再生をします。再生中に一時停止をします。
- ㉔再生/一時停止 : 録画映像の再生をします。再生中に一時停止をします。
- ㉕遅く : 再生速度を遅くします。
- ㉖再生速度 : 現在の再生速度の倍率を表示します。
- ㉗速く : 再生速度を早くします。
- ㉘メイン/サブ : メインストリーム/サブストリームの切り替えをします。(通常はメインのみ録画)
- ㉙分割表示切替 : 分割表示を切り替えます。
- ㉚フルスクリーン表示 : フルスクリーンで再生します。

(※1) スマート再生時のみ操作可能

(※2) スマート・カスタム再生時のみボタン表示

8. 録画映像のエクスポート方法

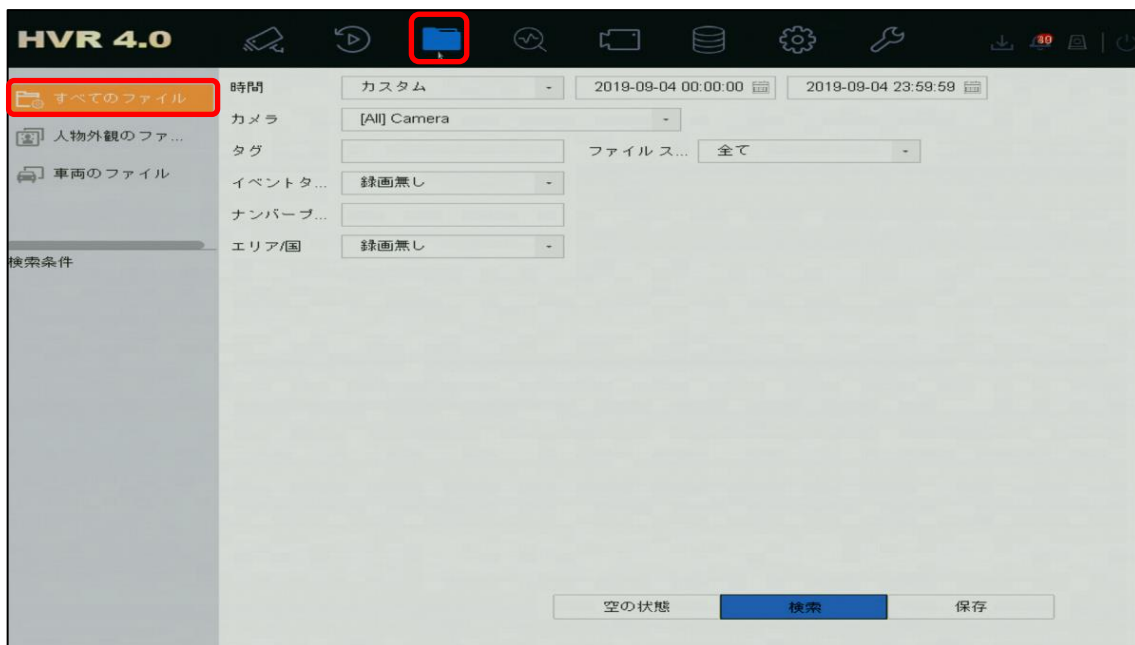
8.1 記録した映像の出力

本機に録画した映像を抽出（エクスポート）する場合は、次の操作を行います。

- (1) USB 接続式の外部記憶媒体（以下、USB メモリ等）を用意します。
- (2) 本機の USB 端子に USB メモリ等を挿し込みます。

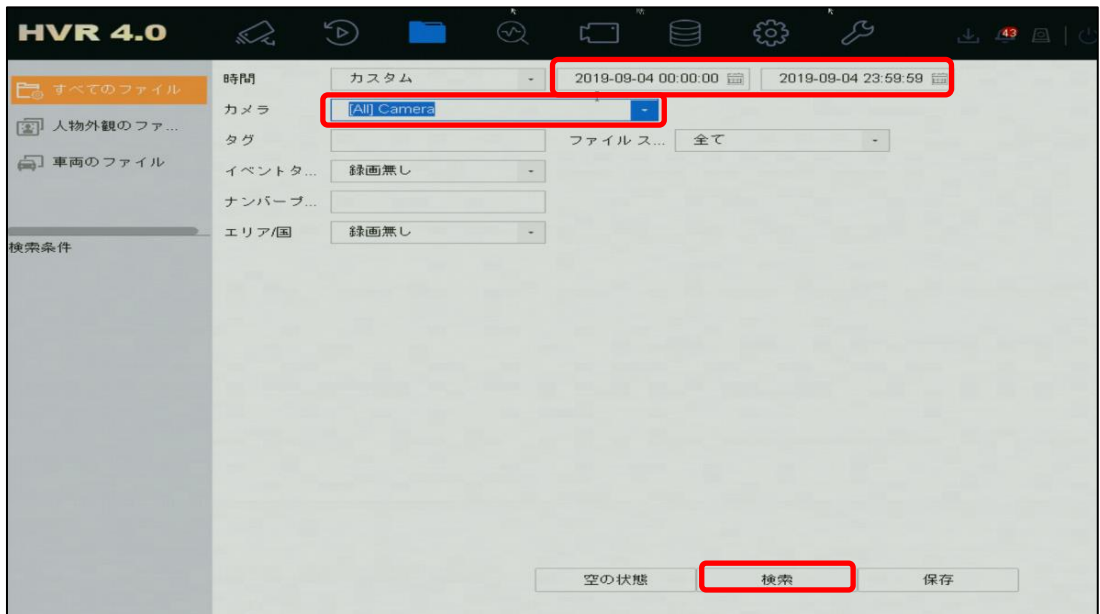
注：USB 機器の対応フォーマットは、FAT/FAT32/NTFS です。exFAT は未対応です。

- (3) メインメニューバーより「ファイル管理」アイコンをクリックします。



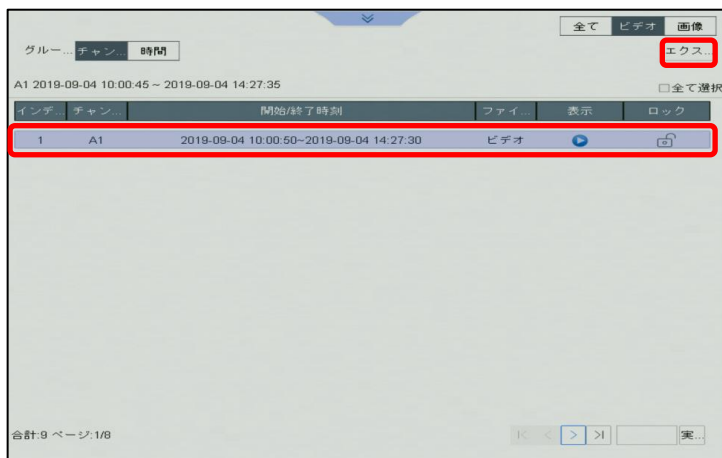
画面 8-1

- (4) エクスポートするカメラを選び、エクスポート期間（開始時間と終了時間）を指定し、「検索」ボタンをクリックします。



画面 8-2

- (5) 検索結果が表示されます。
エクスポートする映像ファイルにチェックを入れます。
右上の「エクスポート」をクリックします。



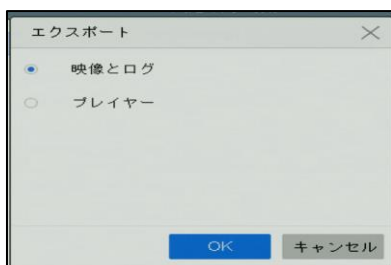
画面 8-3

(6) エクスポートする内容を選び、「OK」をクリックします。

次の 3 つの中から 1 つを選択し、「OK」ボタンをクリックすると保存場所が表示されます。

通常は真ん中の映像とプレーヤー（Video and Player）を選択します。

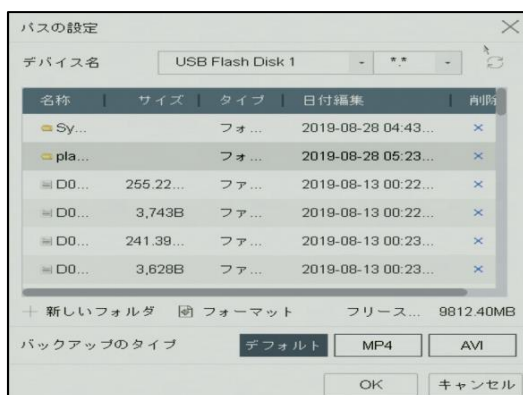
- ・映像とログ : 選択した映像ファイルとログファイルをエクスポートします。
- ・プレーヤー（Player） : 再生プレーヤーのみエクスポートします。



画面 8-4

(7) 本機に差し込んだ USB メモリ等を保存場所として指定します。

指定後「OK」ボタンをクリックします。



画面 8-5

注：本機に USB メモリ等が差し込まれていない場合、保存場所指定画面は表示されません。

注：フォルダを作成してエクスポートしたファイルを管理しやすくする事をお勧めします。

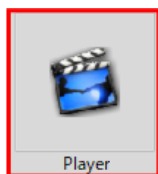
(8) エクスポートの完了後、本機から USB メモリ等を取り外します。

以上で録画映像のエクスポートは完了です。

8.2 エクスポート映像の再生

(1) パソコンにエクスポート映像を保存した USB メモリ等を接続し、保存フォルダを開きます。

エクスポートした Player を起動してください。

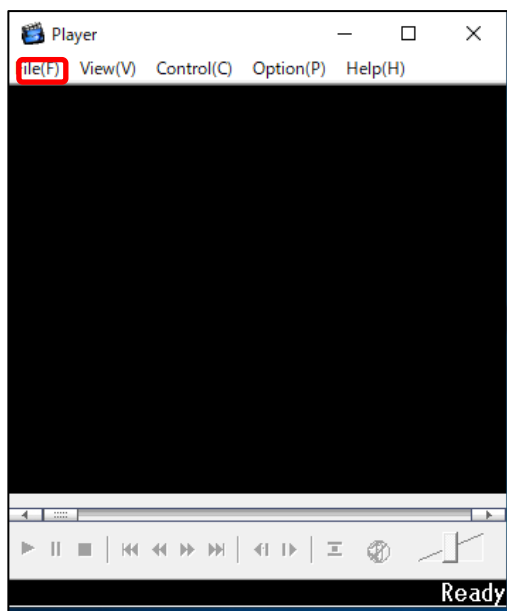


プレーヤー アイコン

画面 8-6

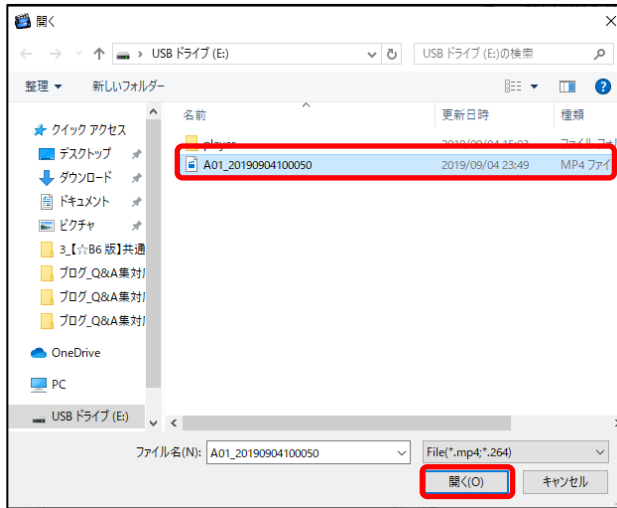
※ 映像ファイルは「mp4」形式でエクスポートされます。専用のメディアプレーヤー以外でも「mp4」の動画ファイルを再生できるソフトであれば再生することが可能です。

(2) プレーヤーの起動後、右下のファイルアイコンをクリックします。



画面 8-7

(3) 保存したフォルダを開き、エクスポートした映像ファイルの選択後、「開く」ボタンをクリックします。



画面 8-8

(4) エクスポートした映像が表示されます。

操作パネルから再生を行います。



画面 8-9



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨



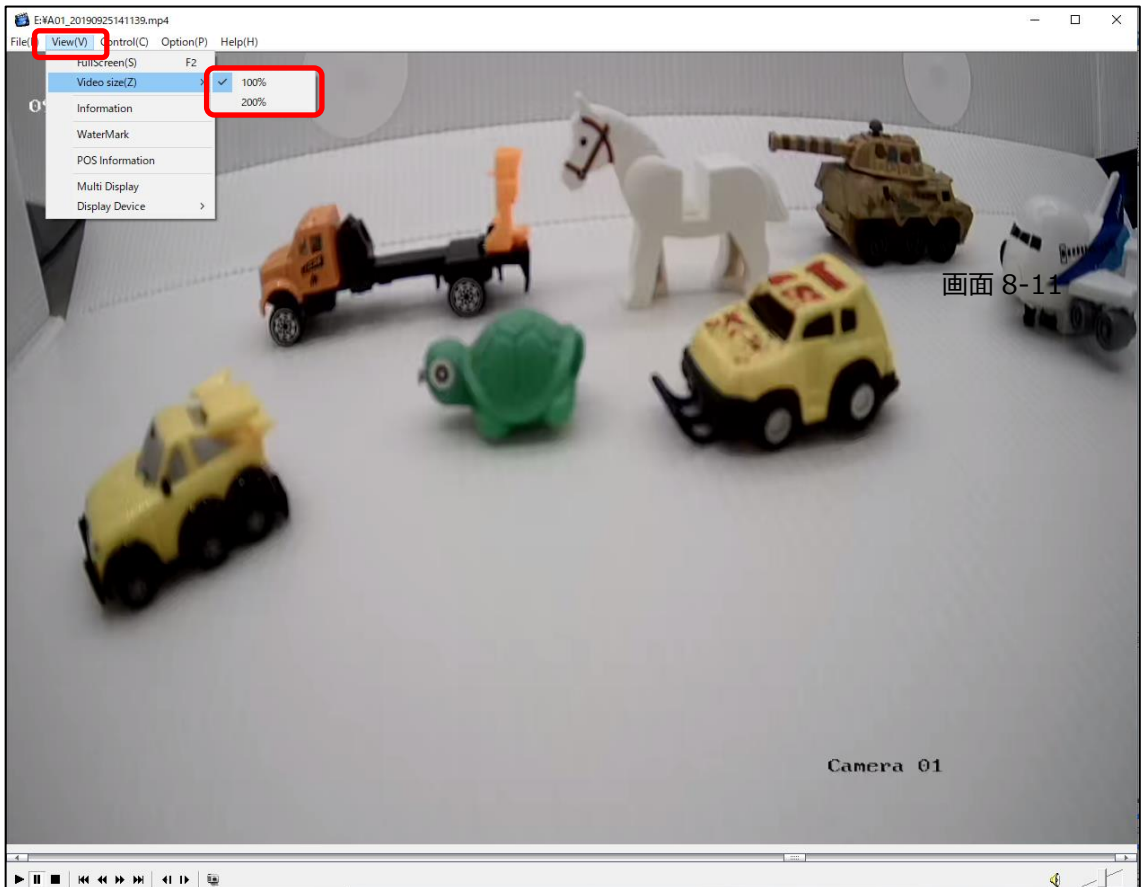
⑩ ⑪

画面 8-10

- ① 再生
- ② 一時停止
- ③ 停止
- ④ 抽出映像の最初へ移動
- ⑤ 再生速度スピードダウン (最高 1/16 倍速)
- ⑥ 再生速度スピードアップ (最高 16 倍速)
- ⑦ 抽出映像の最後へ移動
- ⑧ コマ戻し
- ⑨ コマ送り
- ⑩ 音声 ON/OFF
- ⑪ 音声ボリューム

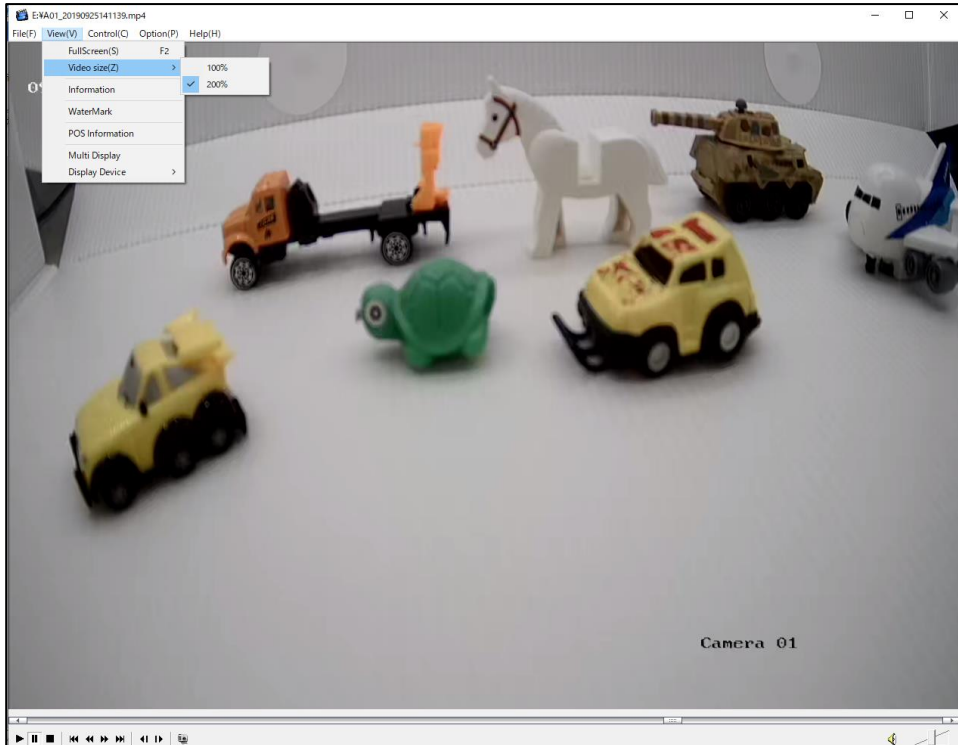
(5) 表示サイズの拡大・縮小

左上の「View」をクリックすると使用している画面に合わせた大きさの表示に切り替えることができます。



画面 8-11

200%表示 表示サイズを 200%にした場合を示します。



画面 8-12

9. 保存された E メールでパスワードリセット

ログインパスワードを設定した後、「保存された E メール設定」の設定を行えば、パスワードを忘れてしまった場合でも、パスワードの再登録を行うことができます。

9.1 パスワードリセット用 Eメールの登録

ログインパターンとパスワードが忘れた場合、パスワードリセット用確認コードを含むメールが送信されます。

設定ステップ

1. システム→ユーザー設定に移動する。
2. admin を選択し変更をクリックする。
3. 認証用の管理者パスワードを入力する。
4. メールアドレスを入力する。
5. [OK]をクリックする。

9.2 パスワードリセット手順

ログインパスワードを忘れた場合、登録した E メールでパスワードをリセットできます。

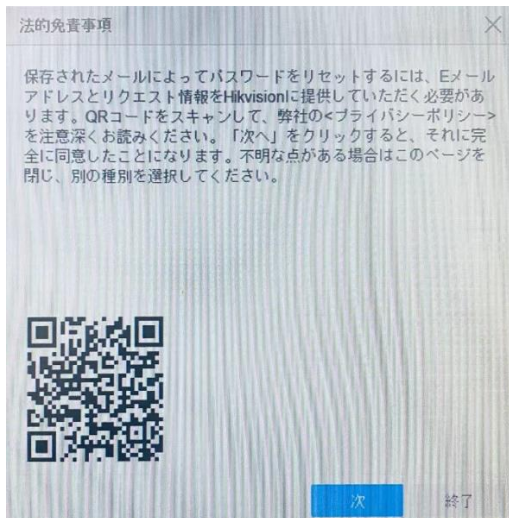
ステップ

1. パスワードログインインターフェースで「パスワードを忘れたか?」をクリックします。



画面 9-1

2. プライバシーポリシーに同意し、「次へ」をクリックします。



画面 9-2

3. 「アプリにて QR コードをスキャン」を選択し、携帯アプリ「Hik-connect」で QR コードをスキャンすると、登録された E メールに確認コードが送信されます。



画面 9-3

4. 確認コードを入力し、OK をクリックします。（確認コードの有効期限は 48 時間です）

Dear customer,

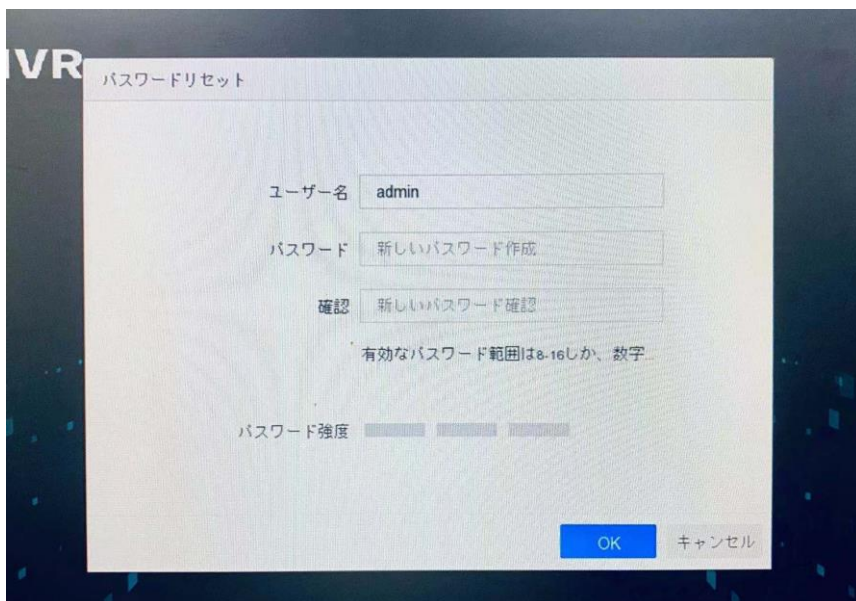
We have received a password reset request from you. You are authorized to use the following verification code to reset your password. Meanwhile, you agree to take full responsibility for this action.

The verification code for the device with serial number EFC123456789 is 561234 valid for 48 hours).

Do not forward or give this code to anyone. Please note that the verification code will become invalid if the device is rebooted, the reserved email address is changed, or 48 hours elapse.

画面 9-4

5. 新しいパスワードを設定し、OK ボタンで適用します。



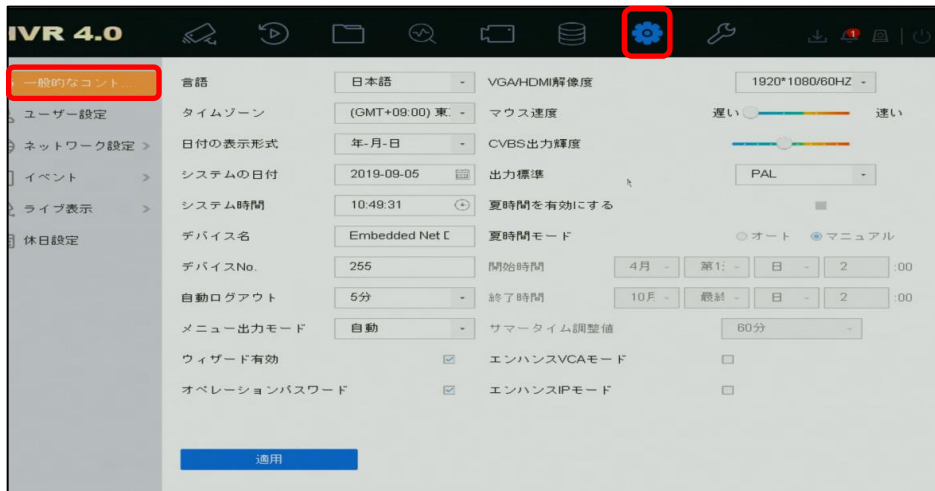
画面 9-5

以上でパスワードのリセットは完了です。

10.HikVision 製 NVR・DVR クイックマニュアル 【保守編】

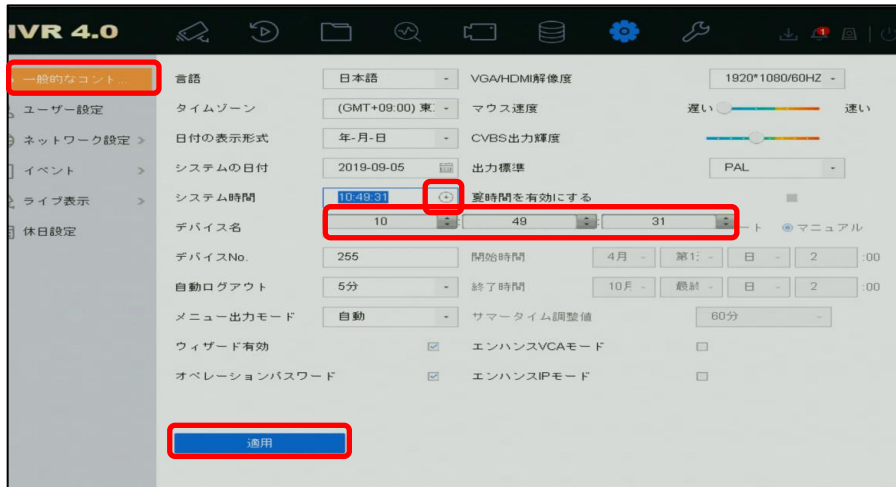
10.1 時計修正方法

(1) メインメニューバーから「システム」をクリックします。



画面 10-1

(2) 「一般的なコントロール」内のシステム時間を修正します。

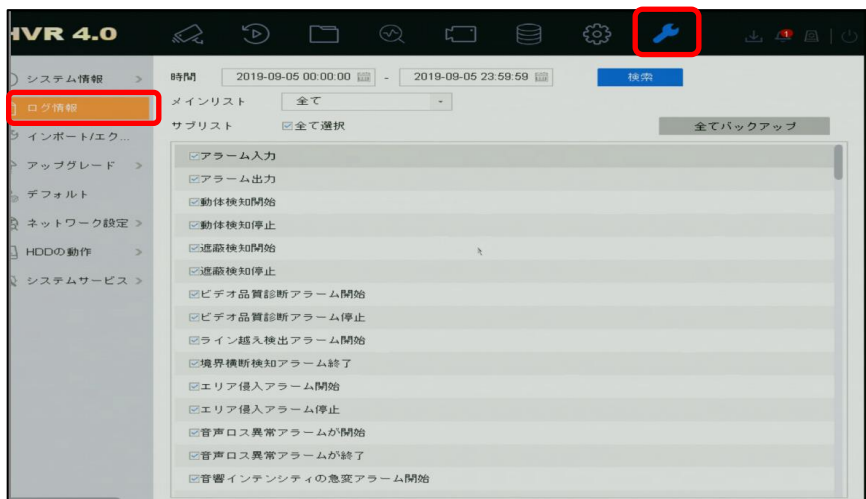


画面 10-2

(3) 変更後は必ず「適用」ボタンを押してください。

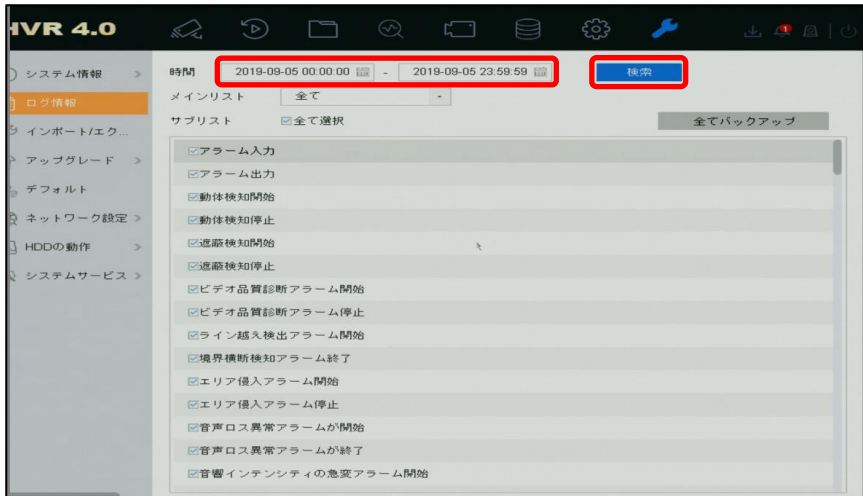
10.2 ログの確認

(1) メニューから「メンテナンス」をクリックします。



画面 10-3

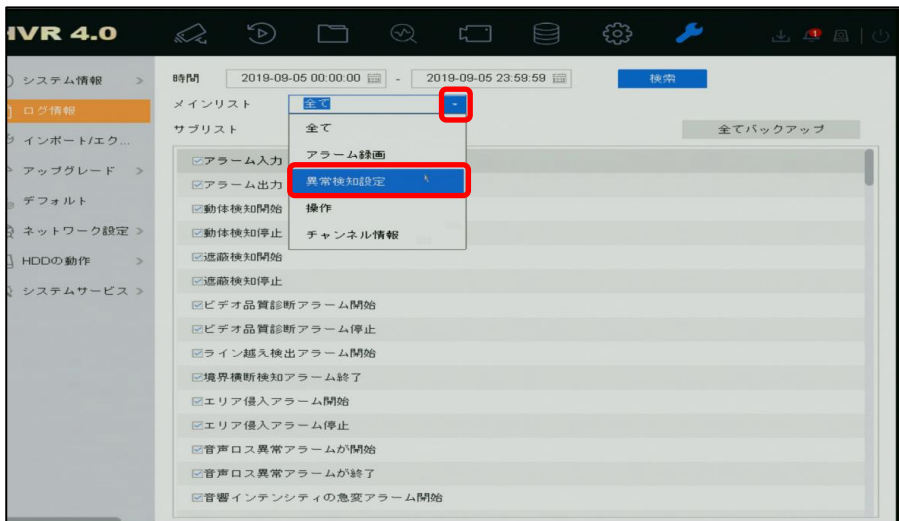
(2) ログの検索範囲（日時）を指定して検索ボタンをクリックします。



画面 10-4

(3) メインリストを選択することで確認したいログの内容を絞り込むことができます。

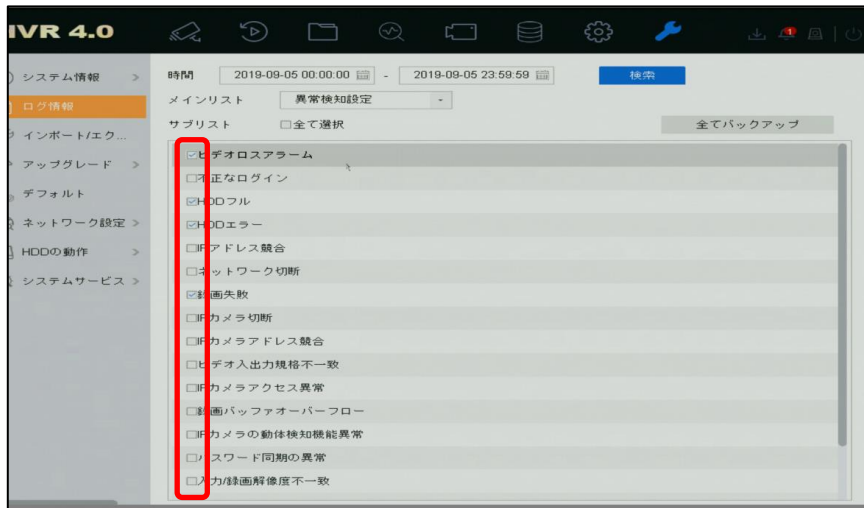
(下記の例では「異常検知設定」を選択します。)



画面 10-5

(4) サブリストで確認したいログを選択することで、さらに絞り込みたいログのみ表示させることができます。

(下記例では「ビデオロスエラー」「HDDフル」「HDDエラー」「録画失敗」にチェックします。)



画面 10-6

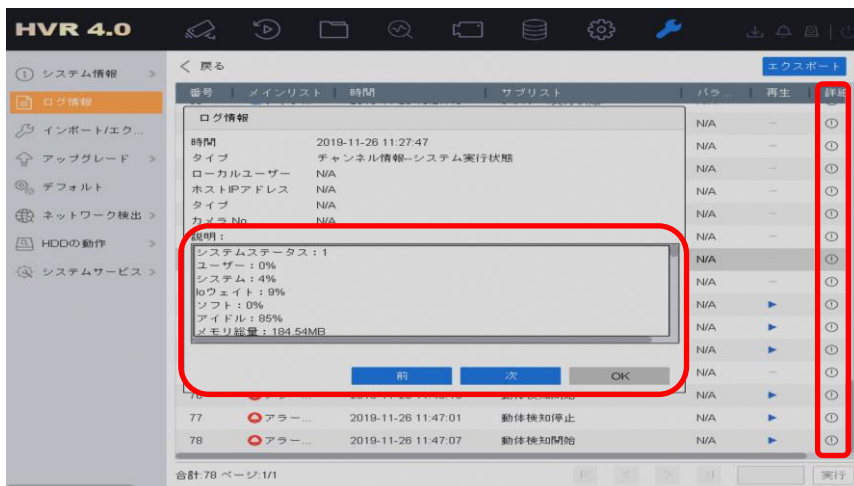
(5) 下記の様にログが表示されます。(ログは一度に2000 件までしか表示できません。)

再生の項目に アイコンがある場合は、クリックする事でその時の映像が表示されます。



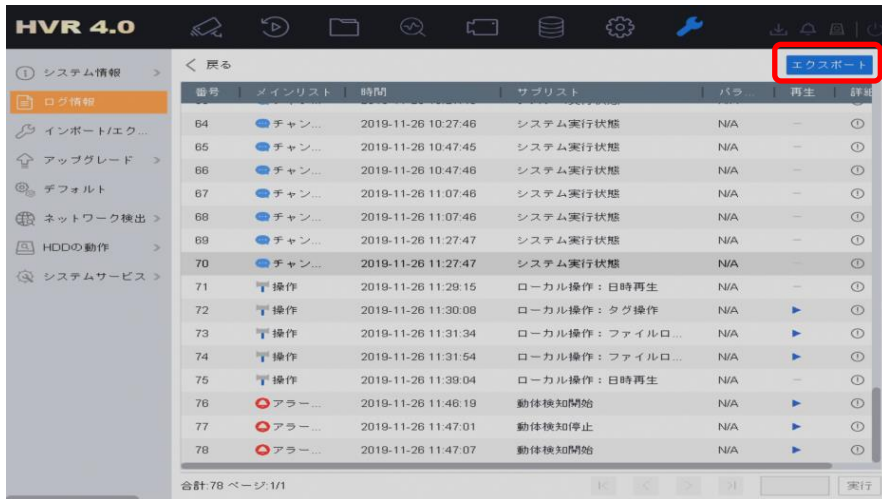
画面 10-7

(6) 詳細の アイコンをクリックすると下記の様にログの詳細説明が表示されます。



画面 10-8

(7) バックアップデバイス（USB メモリ、USB-HDD 等）をつないで、下記画面でエクスポートボタンを押すとログを取り出すことができます。



画面 10-9

[参考]主なログ（機種やファームウェアバージョンにより異なる場合があります）

メインリスト	サブリスト	状態
アラーム録画	アラーム入力	アラーム入力を検知すると記録します
アラーム録画	アラーム出力	アラーム出力すると記録します
アラーム録画	動体検知開始	動きを検知すると記録します
アラーム録画	動体検知停止	動きを検知後に設定時間経過すると記録します
アラーム録画	遮蔽検知開始	タンパリングアラームを検知すると記録します
アラーム録画	遮蔽検知停止	タンパリングアラームが復旧すると記録します
アラーム録画	ライン超える検知アラーム開始	ラインクロスアラームを検知すると記録します
アラーム録画	ライン超える検知アラーム停止	ラインクロスアラームが復旧すると記録します
アラーム録画	エリア侵入アラーム開始	エリア侵入アラームを検知すると記録します
アラーム録画	エリア侵入アラーム停止	エリア侵入アラームが復旧すると記録します
異常検知設定	ビデオロスアラーム	ビデオロスが発生すると記録します
異常検知設定	不正なログイン	ログインに失敗すると記録されます
異常検知設定	HDDフル	HDD容量一杯に録画されると記録されます(上書きでない場合)
異常検知設定	HDDエラー	HDDにエラーが発生すると記録されます
異常検知設定	IPアドレス競合	IPアドレス競合が発生した際に記録されます

メインリスト	サブリスト	状態
異常検知設定	ネットワーク切断	ネットワークが切断した際に記録します
異常検知設定	録画失敗	録画に失敗した際に記録されます
異常検知設定	IPカメラ切断	IPカメラが切断した際に記録します
異常検知設定	IPカメラアドレス競合	IPカメラのIPアドレスが競合した際に記録します
異常検知設定	パスワード同期の異常	パスワードの同期に異常があった場合記録します
操作	電源ON	電源が入ると記録します
操作	ローカル操作：シャットダウン	レコーダーでシャットダウン操作すると記録します
操作	異常シャットダウン	異常シャットダウンが発生した時記録されます
操作	ローカル操作：再起動	レコーダーで再起動操作すると記録します
操作	ローカル操作：ログイン	レコーダーにログインすると記録します
操作	ローカル操作：ログアウト	レコーダーからログアウトすると記録します
操作	ローカル操作：パラメータ設定	レコーダーで設定変更すると記録します
操作	ローカル操作：アップグレード	レコーダーでアップグレード操作を行うと記録します
操作	デフォルトに回復	デフォルトに回復を行うと記録します
操作	出荷状態回復	出荷状態回復を行うと記録します
操作	ローカル操作：録画開始	レコーダーで録画開始操作をすると記録されます
操作	ローカル操作：録画停止	レコーダーで録画停止操作をすると記録されます
操作	ローカル操作：PTZ操作	レコーダーでPTZ操作をすると記録されます
操作	ローカル操作：トリガアラーム出力	レコーダーで手動トリガアラーム出力操作を行うと記録されます
操作	ローカル操作：HDD初期化	レコーダーでHDD初期化操作を行うと記録されます
操作	ローカル操作：IPカメラ追加	レコーダーでIPカメラ追加操作を行うと記録されます
操作	ローカル操作：IPカメラ削除	レコーダーでIPカメラ削除操作を行うと記録されます
操作	ローカル操作：IPカメラ設定	レコーダーでIPカメラの設定変更等を行うと記録されます
操作	ローカル操作：ファイル再生	レコーダーで外部ファイル再生を行うと記録されます
操作	ローカル操作：日時再生	レコーダーで日時再生を行うと記録されます
操作	ローカル操作：録画ファイルエクスポート	レコーダーで録画ファイルをエクスポートすると記録されます
操作	ローカル操作：HDD検出	レコーダーでHDDが検出されると記録されます
操作	ローカル操作：HDD削除	レコーダーでHDD削除操作を行うと記録されます
操作	リモート操作：再起動	リモートで再起動を行うと記録されます
操作	リモート操作：ログイン	リモートでログインすると記録されます
操作	リモート操作：ログアウト	リモートでログアウトすると記録されます
操作	リモート操作：パラメータ設定	リモートでパラメータ設定すると記録されます
操作	リモート操作：アップグレード	リモートでアップグレードすると記録されます
操作	リモート操作：録画開始	リモートで録画開始すると記録されます
操作	リモート操作：録画停止	リモートで録画停止すると記録されます
操作	リモート操作：PTZ操作	リモートでPTZ操作すると記録されます
操作	リモート操作：トリガアラーム出力	リモートでトリガアラーム出力すると記録されます
操作	リモート操作：HDD初期化	リモートでHDD初期化すると記録されます
操作	リモート操作：IPカメラ追加	リモートでIPカメラ追加操作すると記録されます
操作	リモート操作：IPカメラ削除	リモートでIPカメラ削除操作すると記録されます
操作	リモート操作：IPカメラ設定	リモートでIPカメラ設定すると記録されます
操作	リモート操作：ファイル再生	リモートで外部ファイル再生すると記録されます
操作	リモート操作：日時再生	リモートで日時再生すると記録されます
操作	リモート操作：パラメータ問い合わせ	リモートでパラメータ問い合わせすると記録されます
操作	リモート操作：動作状態問い合わせ	リモートで動作状態問い合わせすると記録されます
操作	双方向音声開始	双方向音声開始すると記録されます
操作	双方向音声停止	双方向音声停止すると記録されます
操作	リモート操作：HDD削除	リモートでHDD削除すると記録されます
チャンネル情報	HDD S.M.A.R.T.	HDD情報が定期的に記録されます
チャンネル情報	録画開始	録画開始すると記録されます
チャンネル情報	録画停止	録画停止すると記録されます
チャンネル情報	ネットワークHDD状態	ネットワークHDD状態が定期的に記録されます
チャンネル情報	Time Synchronization	時刻同期をすると記録されます

設定変更履歴記入欄：

日付	対象 (カメラ・レコーダ等型番、カメラ番号等を記入)	内容 (機器追加、パスワード変更、I Pアドレス、その他設定内容や変更内容を記入)

お問い合わせ先：

 **Security Design**

株式会社**セキュリティデザイン**

<http://www.security-d.com/>（弊社ホームページ）

Copyright© 2017 **株式会社セキュリティデザイン**

- ・ 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- ・ 許可無く転載することを禁じます。